

- ・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
 - ・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

⚠ 注意

- ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

お願い

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- ・取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

補 足

- ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

⚠ 注意

- ・製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ・当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
- ・積雪（新雪）20cm（600N/m²）を超えない地域に設置してください。
- ・建物の屋根から落雪を直接受けない位置に設置してください。
- ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
- ・給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。
排気による中毒のおそれがあります。
- ・傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- ・一つの現場で同時に異なるサイズを施工する場合は、本来の製品性能を保持するために、部材を間違えないように確認をしてから施工を行ってください。



お願い

- ・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- ・給湯器や暖房機等の熱排気が製品に当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離^{はくり}のおそれがあります。
- ・施工場所に寸法的に正しく納まるかどうか確認してください。

<基礎工事について>

⚠ 注意

- ・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず碎石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系強アルカリのコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等）は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

お願い

- ・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- ・「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に縦樋を取付けると、表示が見えなくなり、正しく注意を促すことができなくなります。縦樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
- ・アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- ・水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- ・シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。
- ・製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締め付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
東レ・ドウコーニング（株）	SE960

※φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m（25±5kgf・cm）

※φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m（30±5kgf・cm）

※M6ボルト：12.0N・m±0.5N・m（120±5kgf・cm）

※M8ボルト：20.0N・m±0.5N・m（200±5kgf・cm）

※M10ボルト：34.0N・m±0.5N・m（340±5kgf・cm）

お願い

- ・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ※作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。

<施工の後に>

⚠ 注意

- ・ボルト、ネジを増し締めしてください。ただし、緩み止め付きボルトは、硬化前に増し締めしてください。

お願い

- ・取扱説明書は施主様にお渡しください。

INDEX

■ 梱包明細表	4	13 屋根材の取付け	24
■ 各部名称	9	14 垂木カバーの取付け	25
■ 基本タイプの施工方法	10	15 縦樋の取付け	26
■ 確認事項	10	■ 縦連棟の施工方法	28
1 基礎寸法の確認	11	■ 確認事項	28
2 柱の建て込み準備	12	1 本体の組立て	29
3 柱の建て込み	13	■ 梁延長タイプの施工方法	32
4 柱と梁の取付け	13	■ 確認事項	32
5 部材の加工	15	1 柱の建て込み	33
6 端部垂木の取付け	16	2 延長梁の組立て	34
7 垂木の取付け	16	3 柱と延長梁の取付け	34
8 前枠の取付け	17	4 カバーの取付け	35
9 後枠の取付け	19	5 延長梁スペーサー（受け材）の取付け	35
10 側枠の取付け	20	6 延長梁スペーサー（上）の取付け	36
11 対角寸法の確認	23	7 端部キャップの取付け	36
12 中骨の取付け	23		

表示マーク



基本タイプのみの施工



プラスタイプのみの施工



独立基礎で
施工の場合



土間コンクリートで
施工の場合



偏心基礎部材を使用して
施工する場合



柱位置を移動して
施工する場合



柱を内側位置に
移動して
施工する場合



「縦連棟」を施工する場合



梁延長で施工の場合

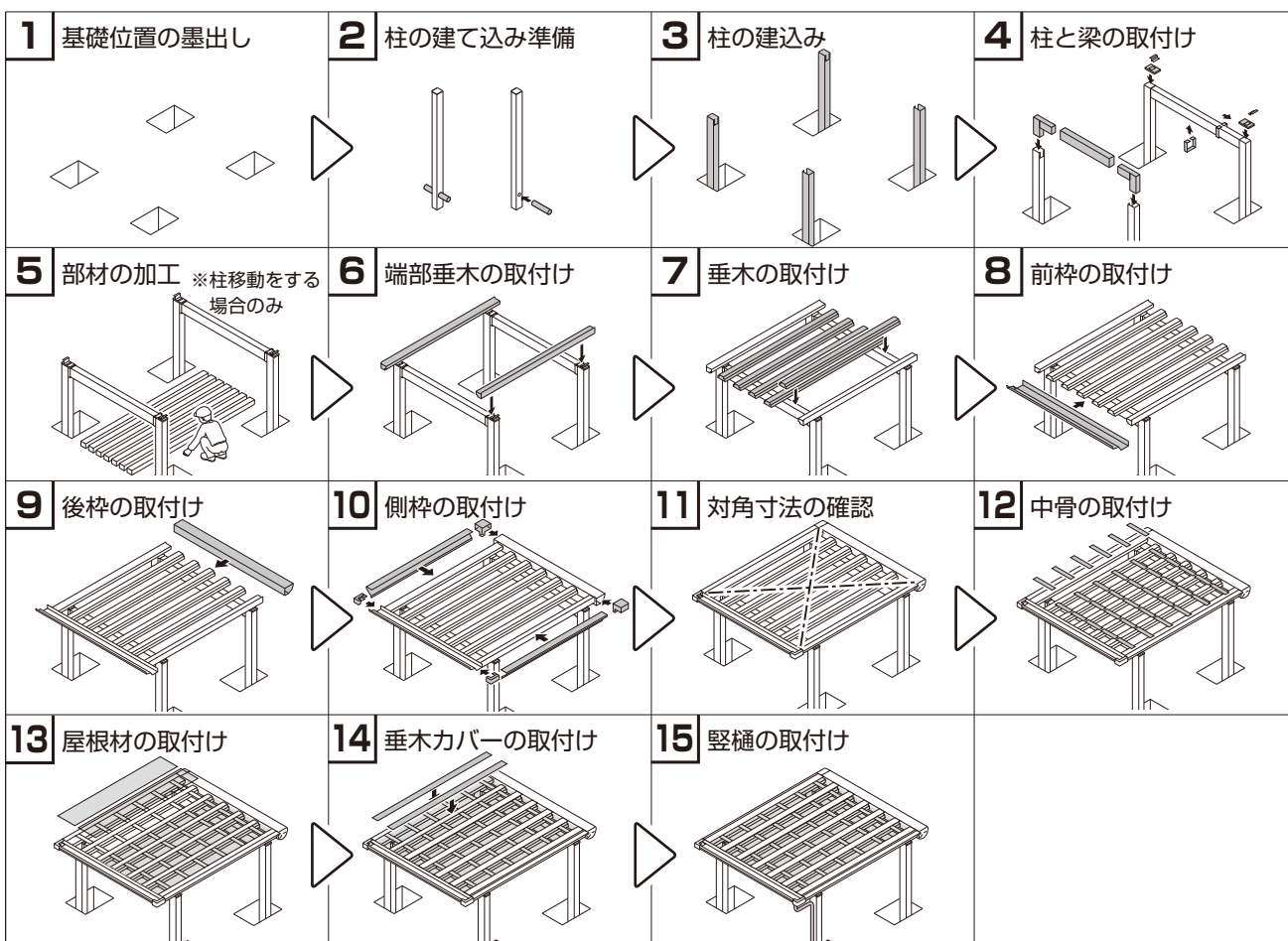


オプション製品



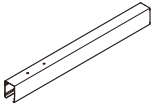
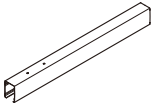
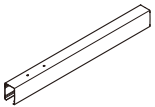
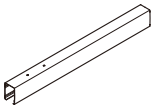
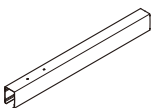
シーリング箇所

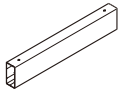
施工の流れ

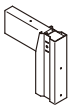


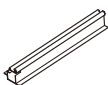
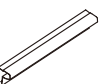
梱包明細表

※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

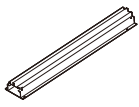
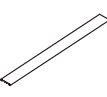
【1】 柱セット		員 数
名 称	略 図	
柱A 50.54.57型 L=2845		2
柱B 50.54.57型 L=3095		2
柱C 50.54.57型 L=3395		1
柱D 50型 L=3598		1
柱D 54.57型 L=3626		1

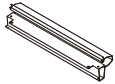
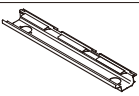
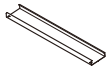
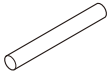
【2】 梁セット		員 数
名 称	略 図	
梁		1

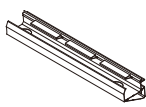
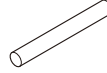
【3】 ブラケットセット		員 数
名 称	略 図	
ブラケット		2

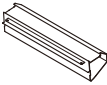
【4】 側枠セット		員 数
名 称	略 図	
側枠カバー		2
端部垂木		左右各1
側枠		2

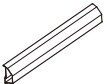
【5】 端部垂木セット プラス枠		員 数
名 称	略 図	
側枠カバー		2
端部垂木		左右各1

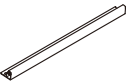
【6】 垂木セット		員 数	
名 称	略 図	2本入り	3本入り
垂木		2	3
垂木カバー		2	3

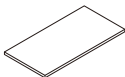
【7】 幅セット		員 数
名 称	略 図	
後枠		1
前枠		1
後枠屋根材受け		1
縦樋φ60 L3400		1

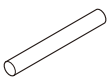
【8】 幅セット（前枠）プラス		員 数
名 称	略 図	
前枠 プラス枠		1
縦樋φ60 L3400		1

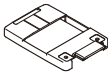
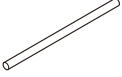
【9】 幅セット（後枠）プラス		員 数
名 称	略 図	
後枠 プラス枠		1
後枠屋根材押え プラス枠		1

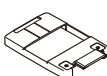
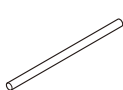
【10】 側枠セット プラス枠		員 数
名 称	略 図	
側枠 プラス枠		2

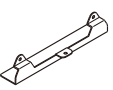
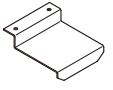
【11】 中骨セット		員 数			
名 称	略 図	13本入	14本入	18本入	21本入
中骨		13	14	18	21

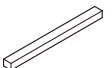
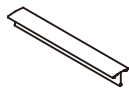
【12】屋根材セット		員 数	
名 称	略 図	1枚入	2枚入
屋根材		1	2

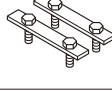
【13】 樋セット (オプション)		員 数	
名 称	略 図	L=1400	L=3000
樋φ60		1	1

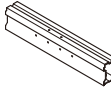
【14】 部品セット ワイド		員 数			
名 称	略 図	W48・54		W60	
		L50	L54・57	L50	L54・57
92° エルボ (φ60)		2	2	2	2
でんでん		3	3	3	3
ドレンエルボ (φ60)		1	1	1	1
雨樋アタッチメント		1	1	1	1
雨樋パッキン		2	2	2	2
雨樋穴塞ぎキャップ		1	1	1	1
後枠コーナーキャップ [部品番号] L: 628744A R: 628745A		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
接着剤		1	1	1	1
前枠コーナーキャップ [部品番号] L: 628742A R: 628743A		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
端部アーチ固定金具		4	4	4	4
柱キャップ		4	4	4	4
柱梁カバー		4	4	4	4
φ8×200アンカー棒		4	4	4	4
穴隠しシール φ10		36	36	40	40
【14-1】 M8×20六角ボルトPW (緩み止め付き)		24	24	24	24
【14-2】 φ4×13ナベドリルネジ		6	6	6	6
【14-3】 φ5×12トラスタッピンネジ3種		472	530	518	582
取扱説明書 〈UD125〉	—	1	1	1	1
取付説明書 〈D588〉	—	1	1	1	1

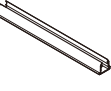
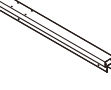
【14】 部品セット プラス ワイド		員 数			
名 称	略 図	W48・54		W60	
		L50	L54・57	L50	L54・57
92° エルボ (φ60)		2	2	2	2
でんでん		3	3	3	3
ドレンエルボ (φ60)		1	1	1	1
雨樋アタッチメントA (プラス枠)		1	1	1	1
雨樋アタッチメントB (プラス枠)		1	1	1	1
雨樋塞ぎ材A (プラス枠)		1	1	1	1
雨樋塞ぎ材B (プラス枠)		1	1	1	1
後枠コーナーキャップ (プラス枠) [部品番号] L: 628748 R: 628749		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
接着剤		1	1	1	1
前枠コーナーキャップ (プラス枠) [部品番号] L: 628746 R: 628747		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
端部アーチ固定金具		4	4	4	4
柱キャップ		4	4	4	4
柱梁カバー		4	4	4	4
φ8×200アンカー棒		4	4	4	4
穴隠しシール φ10		36	36	40	40
【14-1】 M8×20六角ボルトPW (緩み止め付き)		24	24	24	24
【14-2】 φ4×13ナベドリルネジ		6	6	6	6
【14-3】 φ5×12トラスタッピンネジ3種		472	530	518	582
取扱説明書 <UD125>	—	1	1	1	1
取付説明書 <D588>	—	1	1	1	1

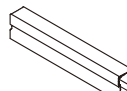
【15】縦連棟部品セット (オプション)		員数
名 称	略 図	
奥行連棟 端部用止水パッキン		4
奥行連棟合掌連結材		8
端部キャップ (奥行き連棟)		2
端部キャップカバー (奥行き連棟)		2
端部キャップパッキン (奥行き連棟)		2

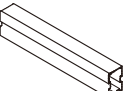
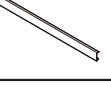
【15】縦連棟部品セット (オプション) (つづき)		員数
名 称	略 図	
奥行き連棟 棟木止水パッキン		7
【15-1】 M6六角ナット		8
【15-2】 M6袋ナット		8
【15-3】 M6×14トラス小ねじ		8
【15-4】 M6×85六角ボルト		8
【15-5】 M6バネ座金		24
【15-6】 M6平座金ミガキ丸		24
【15-7】 φ4×12トラスタッピンネジ3種		10
【16】縦連棟部材セット (オプション)		員数
名 称	略 図	
縦連棟用棟木 ワイド		1

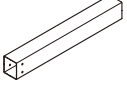
【17】延長梁金具セット		員数
名 称	略 図	
延長梁スペーサー止水パッキン		2
延長梁スペーサー端部キャップ		2
延長梁端部キャップ		2
延長梁連結力バー		2
梁スペーサー下A		4
梁スペーサー上A		4
梁固定金具		2
梁固定金具裏板		4
【17-1】 M10 六角ナット		8
【17-2】 M10×25 六角ボルトPW+SW		26
【17-3】 M10×35 六角ボルトPW+SW		8
【17-4】 M10バネ座金		8
【17-5】 M10平座金ミガキ丸		8
【17-6】 φ4×10ナベタッピンネジ3種		4
【17-7】 φ4×12トラスタッピンネジ3種		13
【17-8】 φ4×16ナベドリルネジ		4
【17-9】 φ5×12トラスタッピンネジ3種		12
【17-10】 φ5×13ナベドリルネジ		48
【17-11】 φ5×16ナベドリルネジ		4

【18】延長梁スリーブセット		員数
名 称	略 図	
延長梁スリーブ		1

【19】延長梁スペーサーセット		員数
名 称	略 図	
延長梁スペーサー (受け材)		1
延長梁スペーサー (上)		1

【20】延長梁セット (端部用)		員数
名 称	略 図	
延長梁 (端部)		1
延長梁力バー (端部)		2

【21】延長梁セット (中間用)		員数
名 称	略 図	
延長梁 (中間)		1
延長梁力バー (中間)		2

【22】延長梁用柱セット		員数	
名 称	略 図	1本入り	2本入り
柱 延長梁用		1	2

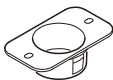
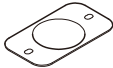
【23】 柱移動用部品セット (オプション)		員 数
名 称	略 図	
直線ジョイナー (φ40)		1
直線ジョイナー (φ60)		1
ワイド棟木補強材		—
【23-1】 φ5×13 ナベドリルネジ		8

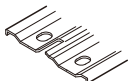
【24】 ドレンエルボセット (オプション)		員 数
名 称	略 図	
ドレンエルボφ60用		1

【25】 エルボセット (オプション)		員 数
名 称	略 図	
92°エルボφ60用		1

【26】 でんでんセット (オプション)		員 数
名 称	略 図	
でんでん		3
【26-1】 φ4×16 ナベドリルネジ		6

【27】 ストレートジョイナーセット (オプション)		員 数
名 称	略 図	
ストレートジョイナー (φ60)		1

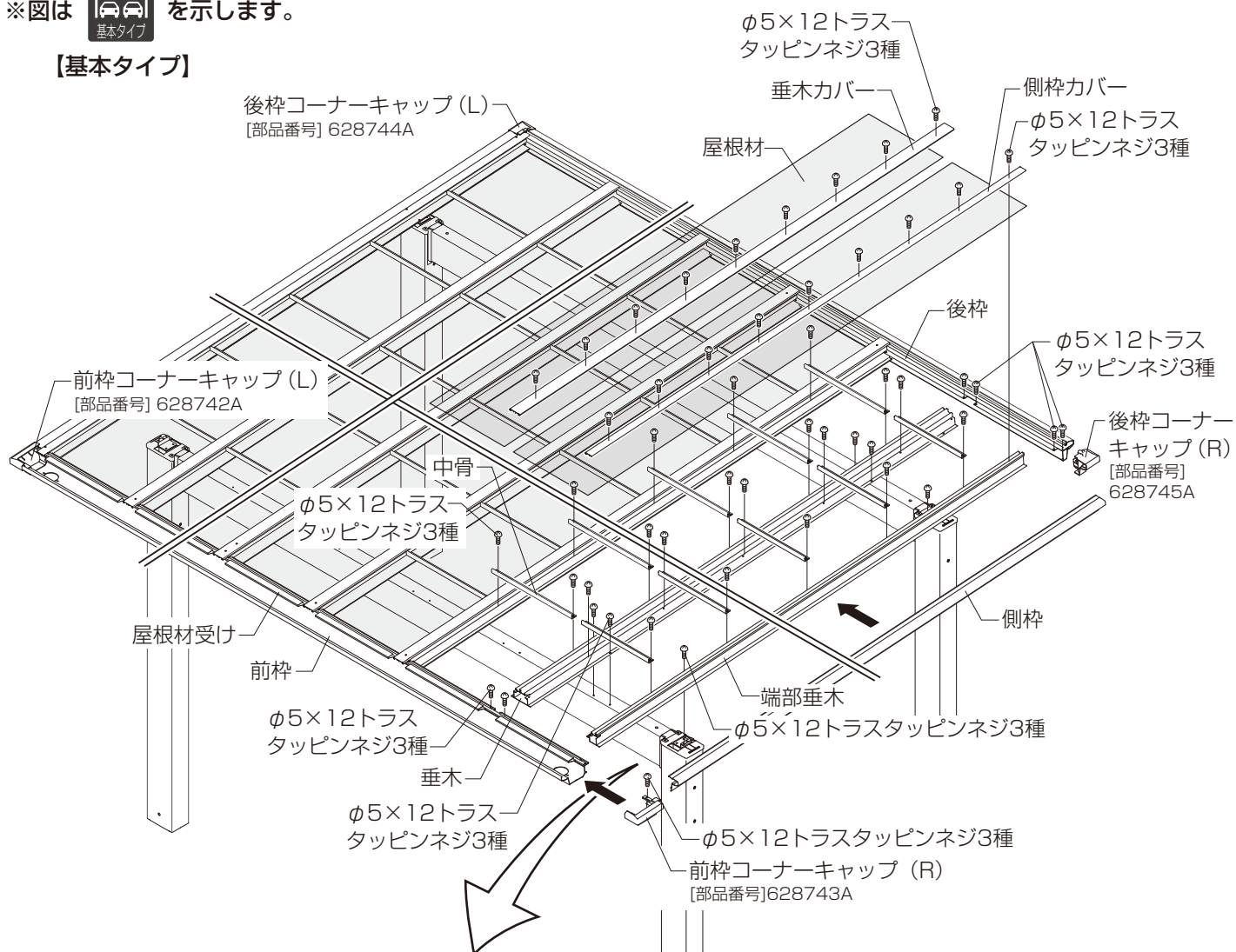
【28】 アタッチメントセット (オプション)		員 数	
名 称	略 図	基本タイプ	プラスタイプ
雨樋アタッチメント		1	—
雨樋穴塞ぎキャップ		1	—
雨樋パッキン		2	—
雨樋アタッチメントA (プラス枠)		—	1
雨樋アタッチメントB (プラス枠)		—	1
雨樋塞ぎ材A (プラス枠)		—	1
雨樋塞ぎ材B (プラス枠)		—	1
【28-1】 φ5×12トラスタッピンネジ3種		4	4

【29】 屋根材ホルダーセット (オプション)		員 数		
名 称	略 図	W48	W54	W60
パネル抜け防止材		8	9	10
屋根材ホルダースペーサー		4	4	4
【29-1】 φ5×13ナベドリルネジ		26	26	26
屋根材ホルダー 取付説明書 (D614)	—	1	1	1

各部の名称

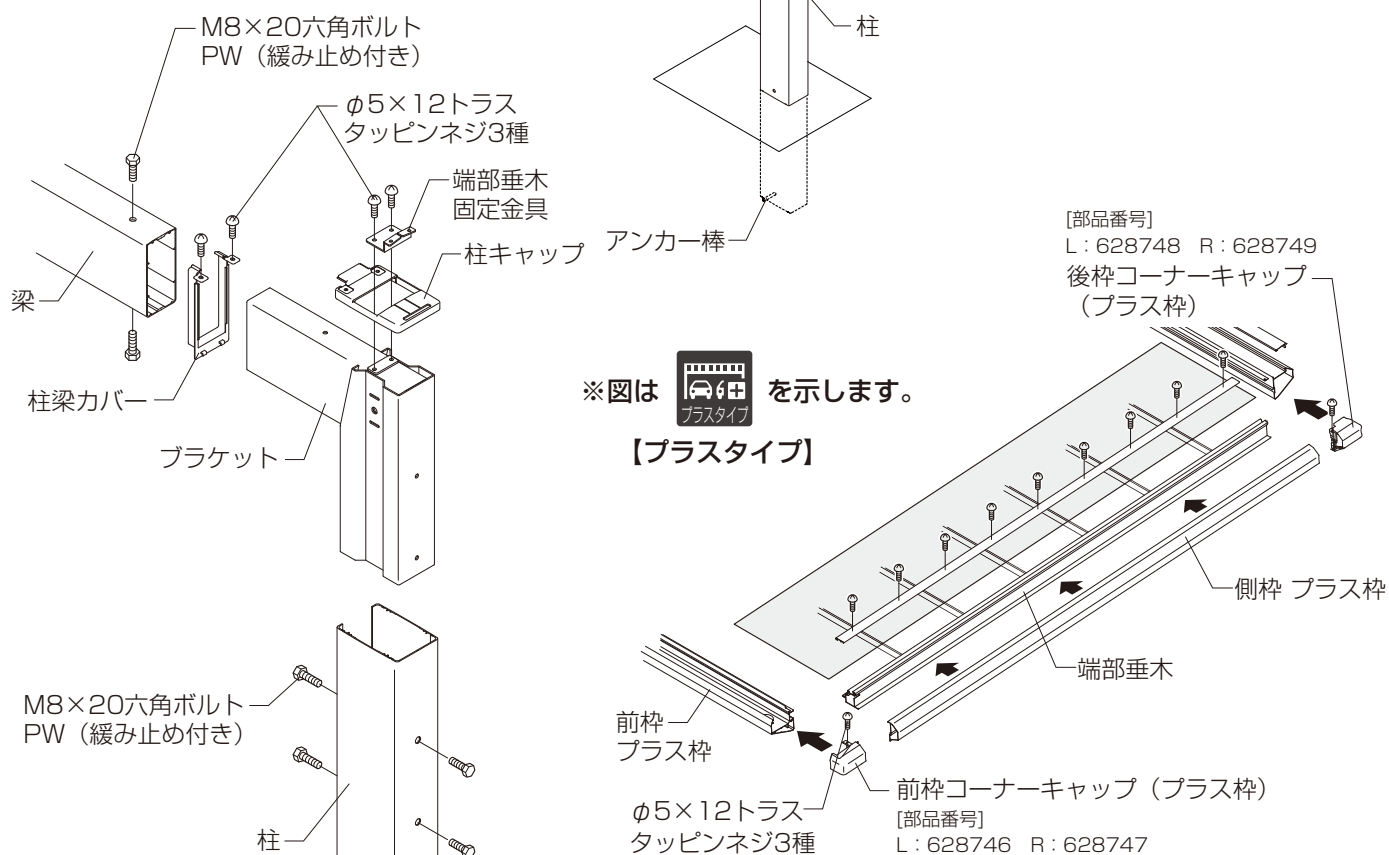
※図は  を示します。

【基本タイプ】



※図は  を示します。

【プラスタイプ】



基本タイプの施工方法

確認事項

姿図

注意



【柱移動】をした場合

柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。



【柱内側移動】をした場合

片側300mm以内で柱移動をしてください。

お願い

- ・造計算書を添付して建築確認申請を行なっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。
- ・柱内の水が抜けるように必ず砕石を敷いてください。



【縦連結】、【梁延長】の基礎寸法は、P.11および対応したページも併せて参照してください。



【異形・側面台形】の場合
「異形対応 フーゴF ワイド 取付説明書 (D600)」を参照してください。

補足



印は【柱移動】
範囲を示します。



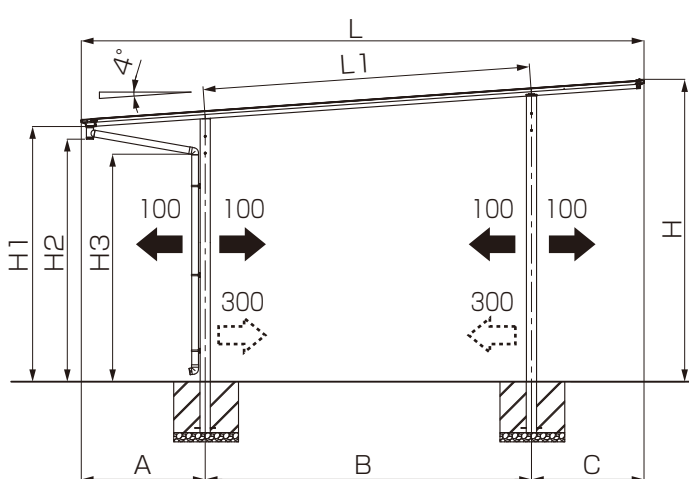
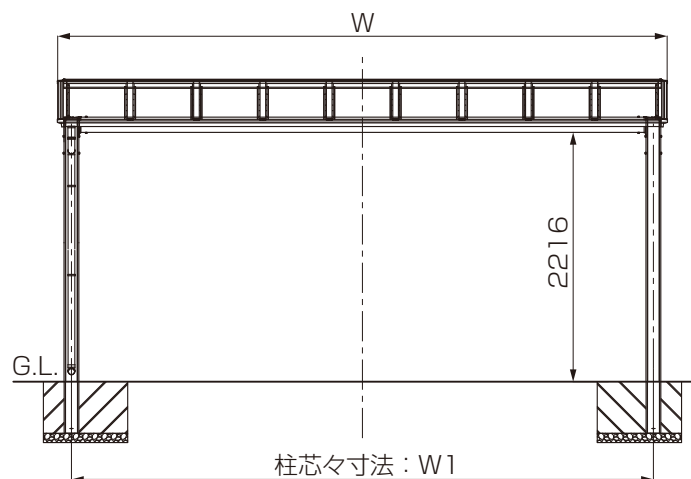
印は【柱内側移動】
範囲を示します。

【ロング柱の場合】

高さ寸法に+250してください。

【H28柱の場合】

高さ寸法に+550してください。



基本タイプの場合



間口	W	W1
W48	4827	4583
W54	5417	5173
W60	6007	5763

奥行	L	L1	A	B	C	H	H1	H2	H3
L50	5002	2907	1102	2900	1000	2687	2268	2155	2022
L54	5402	3108	1201	3100	1100	2708	2261	2148	1997
L57	5701	3308	1251	3300	1150	2726	2257	2145	1985

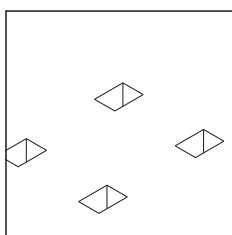
プラスタイプの場合



間口	W	W1
W48	4829	4583
W54	5419	5173
W60	6009	5763

奥行	L	L1	A	B	C	H	H1	H2	H3
L50	5024	2907	1078	2900	1046	2683	2230	2127	1994
L54	5424	3108	1178	3100	1147	2704	2223	2120	1969
L57	5723	3308	1228	3300	1196	2722	2219	2117	1957

基礎の墨出し



①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。



【基礎寸法数値について】

基礎寸法「DW」「DL」「DH」は「P.11」を参照してください。



下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

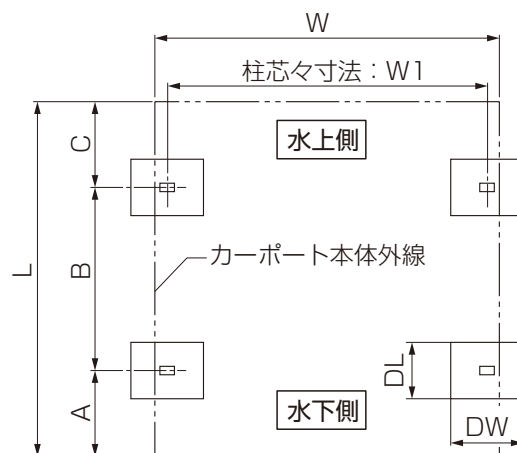
【カーポートライト】

「エスコートスポットライト 取付説明書 (Z542)」

「カーポートライト用台座セット 取付説明書 (Z545)」

【コンセントフレーム】

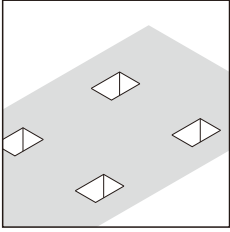
「コンセントフレーム 取付説明書 (D499)」



1 基礎寸法の確認



【縦連結】の基礎寸法は対応したページも併せて参照してください。
【梁延長】

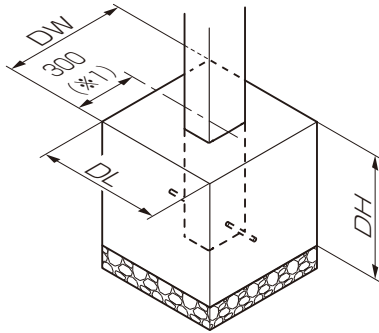


①基礎穴寸法を確認してください。

サイズ (間口)	独立基礎寸法						土間コンクリート寸法					
	フーゴ			ネスカ			フーゴ			ネスカ		
	DW	DL	DH	DW	DL	DH	DW	DL	DH	DW	DH	DH
W48	800	600	500	700	600	500	400	350	500	400	300	500
W54	800	800	500	700	600	500	400	350	500	400	300	500
W60	800	800	500	800	700	500	500	400	500	500	300	500



【独立基礎仕上げ】の場合の作業です。

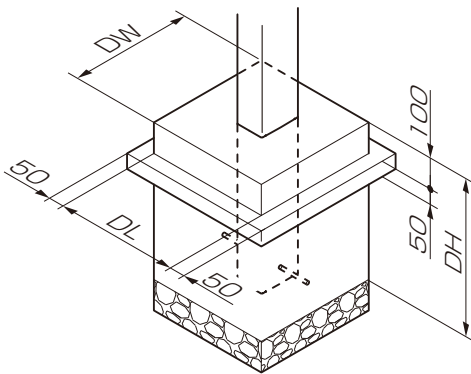


補 足

(※1) は柱芯から柱背面側の基礎端面までの寸法です。

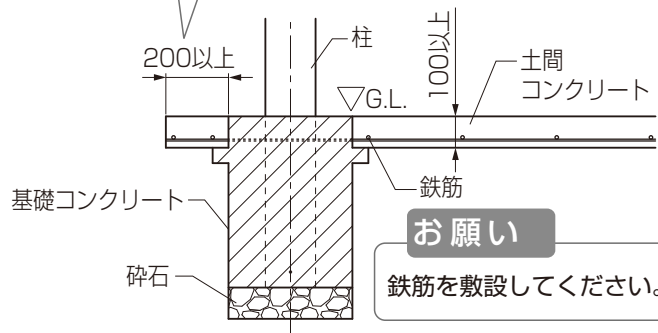


【土間コンクリート仕上げ基礎】の場合の作業です。



お 願 い

基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。



お 願 い

鉄筋を敷設してください。



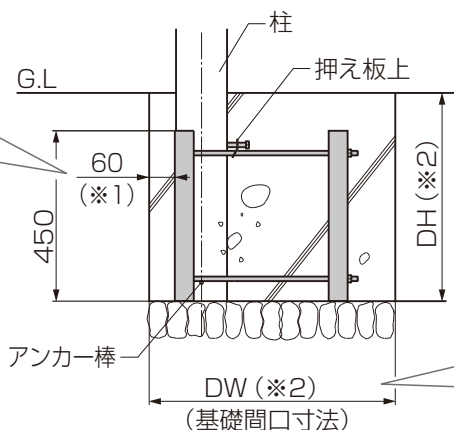
【偏芯基礎部材】を取付ける場合の作業です。



組立て方法、基本寸法については
【偏芯基礎部材 取付説明書 (D349)】も参照してください。

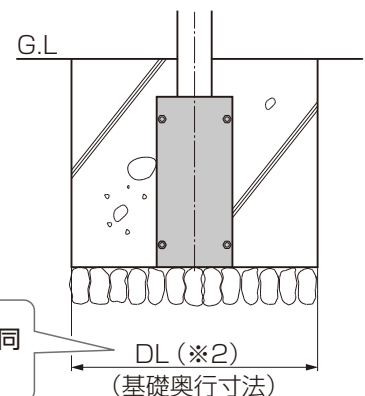
補 足

※1はタテ材Aの外
面から基礎端面の
寸法です。



補 足

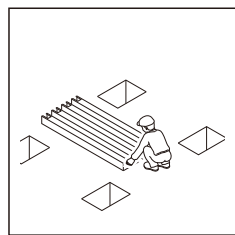
※2は独立基礎と同じ寸法になります。



2 柱の建て込み準備

1 柱の加工

(1) 基本の場合



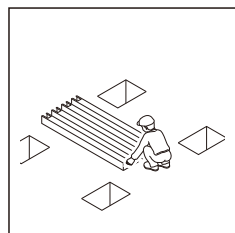
①柱に加工を行なってください。



H(水上) 寸法表

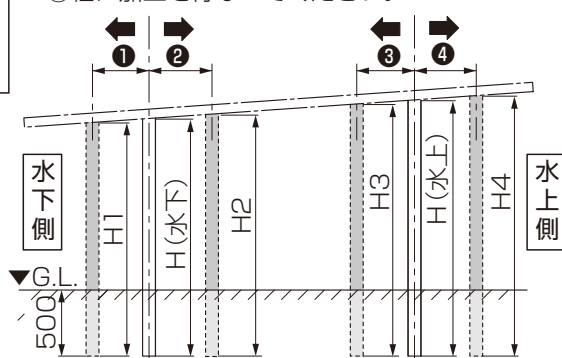
		H22	H25	H28
L50	H(水上)	3048	3298	3598
	切断寸法	(47)	(97)	切断無し
L54	H(水上)	3062	3312	3612
	切断寸法	(33)	(83)	(14)
L57	H(水上)	3076	3326	3626
	切断寸法	(19)	(69)	切断無し

(2) 柱移動・柱内側移動の場合



【柱移動】
【柱内側移動】
OP オプション
の場合の作業です。

①柱に加工を行なってください。

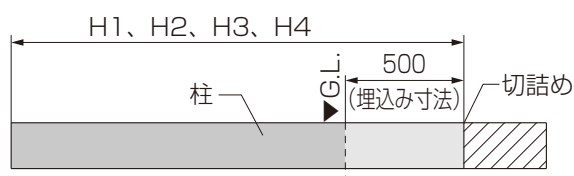


H(水下) 寸法表

		H22	H25	H28
L50・L54・L57	H(水下)	2845	3095	3395

H(水上) 寸法表

		H22	H25	H28
L50	H(水上)	3048	3298	3598
L54	H(水上)	3062	3312	3612
L57	H(水上)	3076	3326	3626



【水下側の場合】

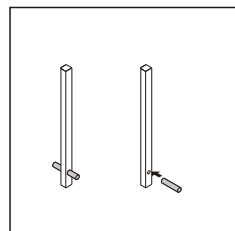
- ・H1=H(水下)-0.07×移動距離①
- ・H2=H(水下)※1(切断なし)

【水上側の場合】

- ・H3=H(水上)-0.07×移動距離③
- ・H4=H(水上)+0.07×移動距離④
- ・H4=H(水上)※2(切断なし)

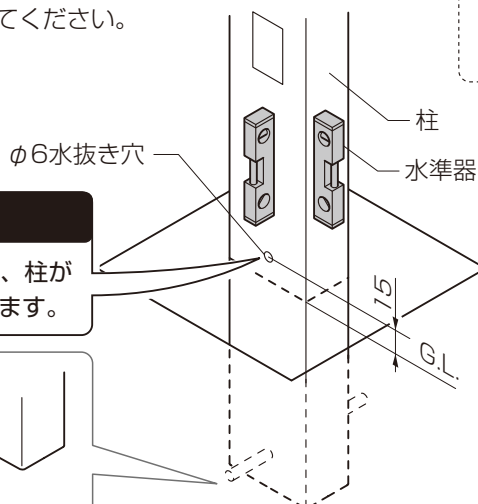
※1の場合、水上側の柱を0.07×移動距離②の寸法分短くしてください。(埋込み深さ調整または切断)
※2の場合、水下側の柱を0.07×移動距離④の寸法分短くしてください。(埋込み深さ調整または切断)

2 アンカー棒の取付け



①アンカー棒を柱に差込んでください。

②柱のG.L.付近(地上側)にφ6水抜き穴をあけてください。



⚠ 注意

水抜き穴をあけないと、柱が破損するおそれがあります。

アンカー棒



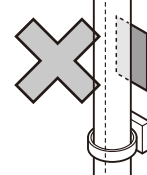
下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

- 【カーポートライト】
「エスコートスポットライト 取付説明書 (Z542)」
「カーポートライト用台座セット 取付説明書 (Z545)」
- 【コンセントフレーム】
「コンセントフレーム 取付説明書 (D499)」

お願い

【柱を建てこむ際は】

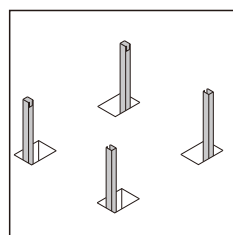
「使用上の注意」ラベルが、縦樋でかかれぬように柱を建込んでください。



お願い

柱の垂直を確認してください。

3 柱の建込み



①柱を基礎穴に建込んでください。

お願い

柱を固定する前に柱間の対角寸法を確認してください。

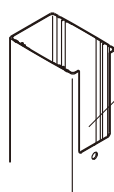


下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

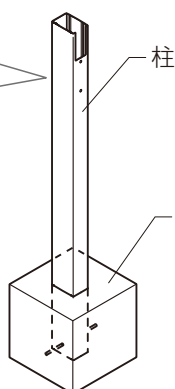
【カーポートライト】
「エスコートスポットライト 取付説明書 (Z542)」
「カーポートライト用台座セット 取付説明書 (Z545)」
【コンセントフレーム】
「コンセントフレーム 取付説明書 (D499)」

お願い

柱に切欠きがある方を内側にしてください。



切欠き



基礎穴



お願い

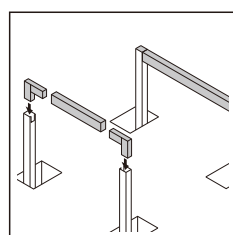
長い柱が「水上側」になるようにしてください。

お願い

短い柱が「水下側」になるようにしてください。

4 柱と梁の取付け

1 梁の取付け



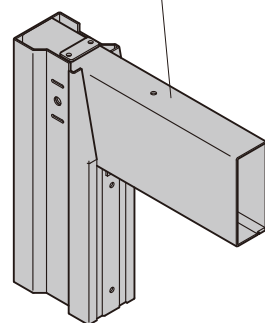
①ブラケットを梁に差込み【I4-1】で取付けてください。

②梁を柱に【I4-1】で取付けてください。

お願い

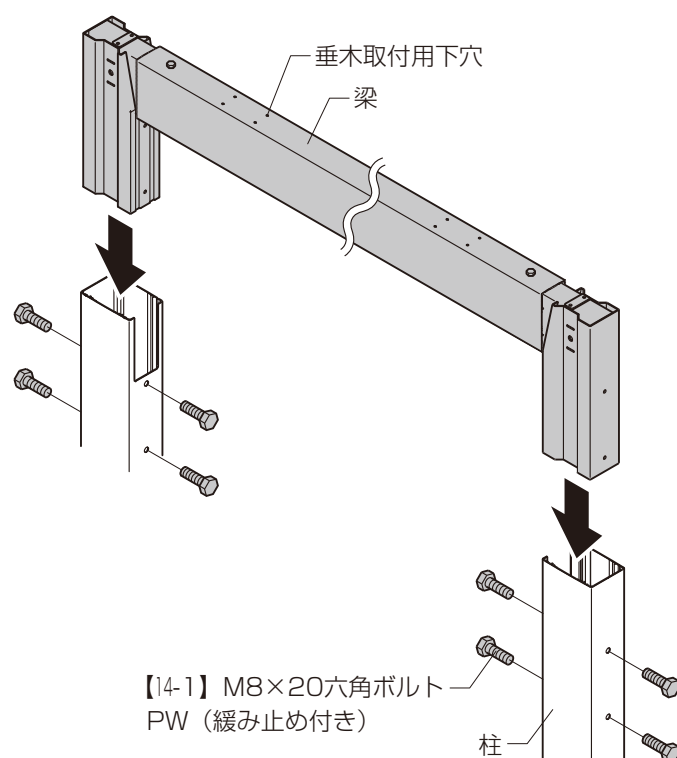
緩み止め剤硬化後にボルトを「緩めたり、締めたり」しないでください。緩みやすくなる場合があります。
(締め付け後、約24時間で硬化します。)

ブラケット

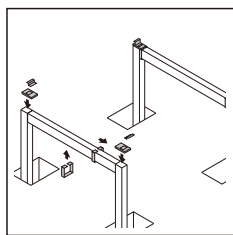


梁

【I4-1】 M8×20 六角ボルトPW (緩み止め付き)



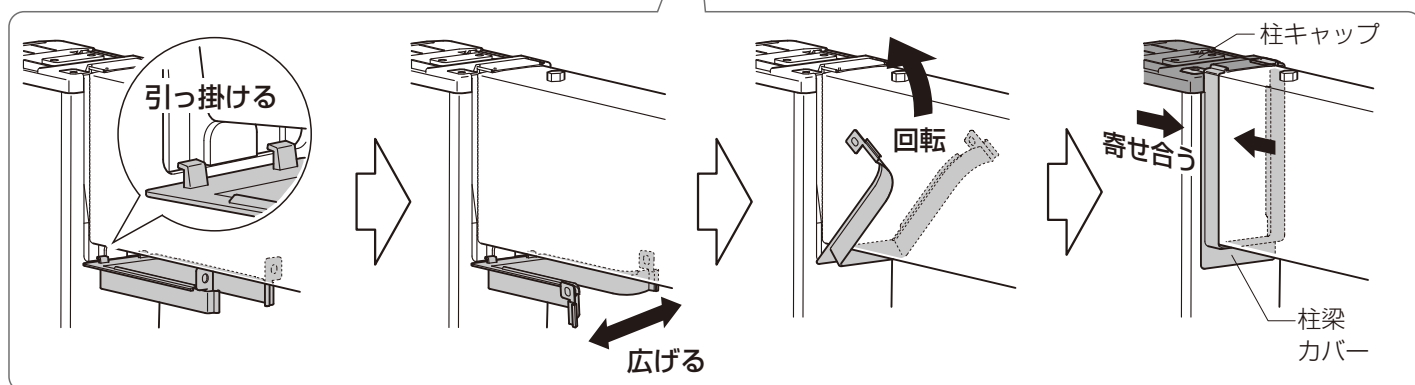
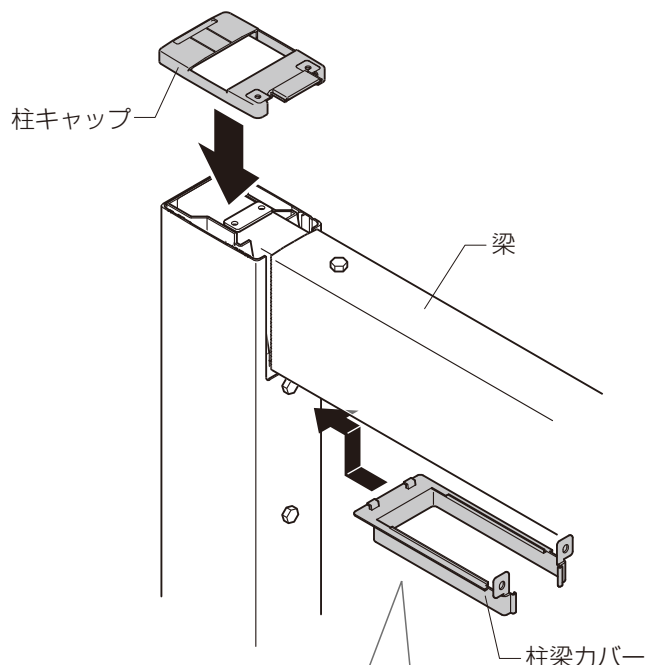
2 部品の取付け



- ① 柱キャップを柱にはめ込んでください。
- ② 柱梁力バーを柱の切欠き部にはめ込んでください。
- ③ 柱梁力バーを柱キャップに【14-3】で取付けてください。
- ④ 端部垂木固定金具をブラケットに【14-3】で取付けてください。



【異形・側面台形】の場合
「異形対応 フーゴF ワイド 取付説明書
(D600)」を参照してください。



【14-3】φ5×12トラス
タッピンネジ3種

端部垂木固定金具

柱キャップ

ブラケット

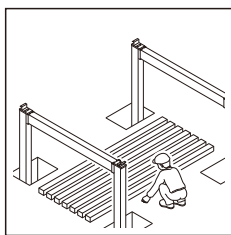
【14-3】φ5×12トラス
タッピンネジ3種

柱梁力バー

補 足

この段階では柱キャップと
柱梁力バーは多少ガタつき
ます。

5 部材の加工

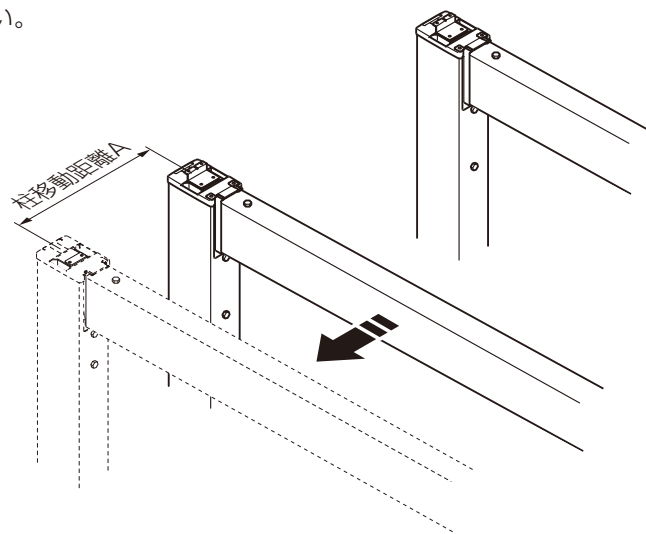


【柱移動】
【柱内側移動】 の場合の作業です。

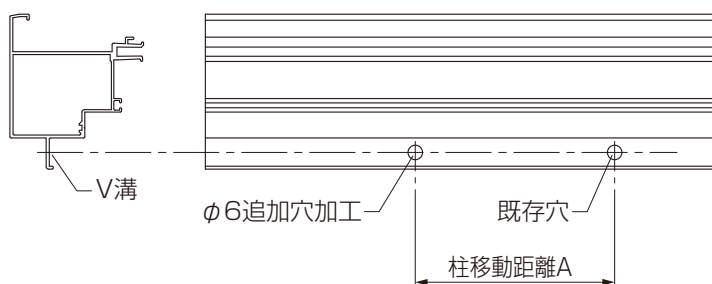
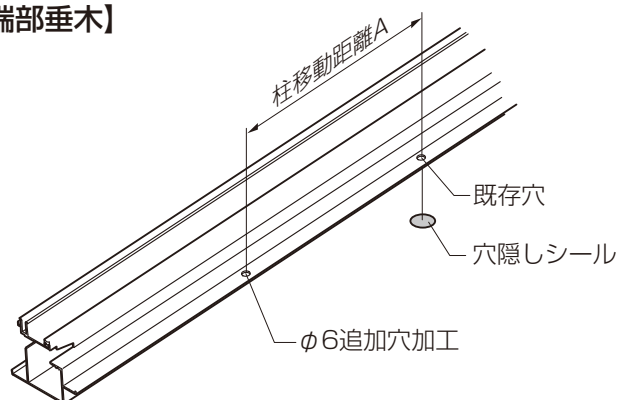


【異形・側面台形】の場合
「異形対応 フーゴF ワイド 取付説明書
(D600)」を参照してください。

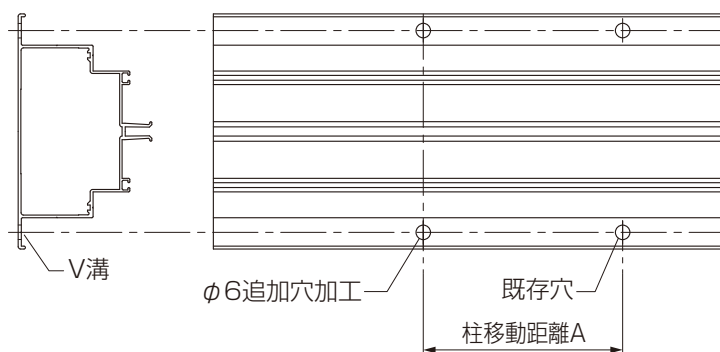
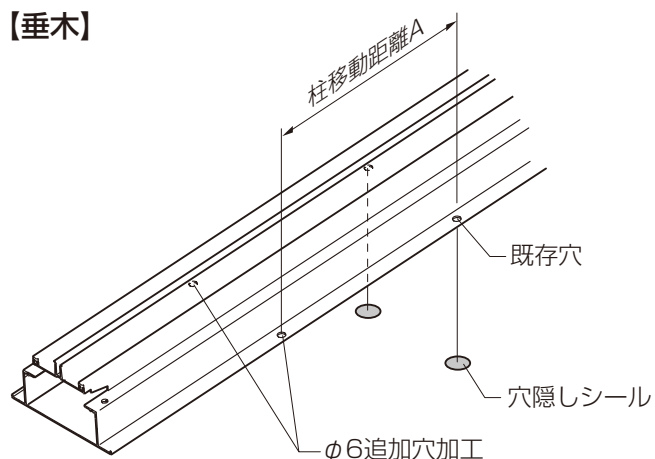
- ①部材に穴加工を行なってください。
- ②既存穴に穴隠しシールを貼ってください。



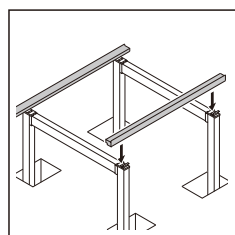
【端部垂木】



【垂木】



6 端部垂木の取付け



①端部垂木を端部垂木固定金具に【I4-3】で取付けてください。



【I4-3】φ5×12トラス
タッピンネジ3種

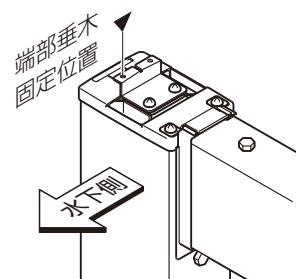
端部垂木

水下側

端部垂木
固定金具

お願い

端部垂木固定金具の水下側
の穴に取付けてください。



お願い

ネジの浮き・傾き
がないように取付
けてください。



ネジの浮き

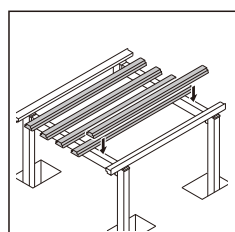


ネジの傾き



ネジの浮き・傾きなし

7 垂木の取付け



①垂木を梁に【I4-3】で取付けてください。

【I4-3】φ5×12トラス
タッピンネジ3種

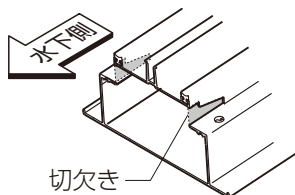
垂木

梁

水下側

お願い

切欠きのある方を水下側に
してください。



お願い

水下側のみ固定し
てください。

お願い

ネジの浮き・傾き
がないように取付
けてください。



ネジの浮き



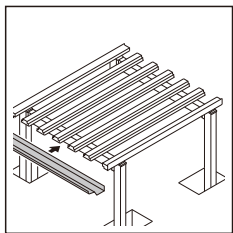
ネジの傾き



ネジの浮き・傾きなし

8 前枠の取付け

1 前枠の取付け



- ①前枠の切欠き部にシーリングをしてください。
- ②前枠を端部垂木と垂木に【14-3】で取付けてください。

補 足

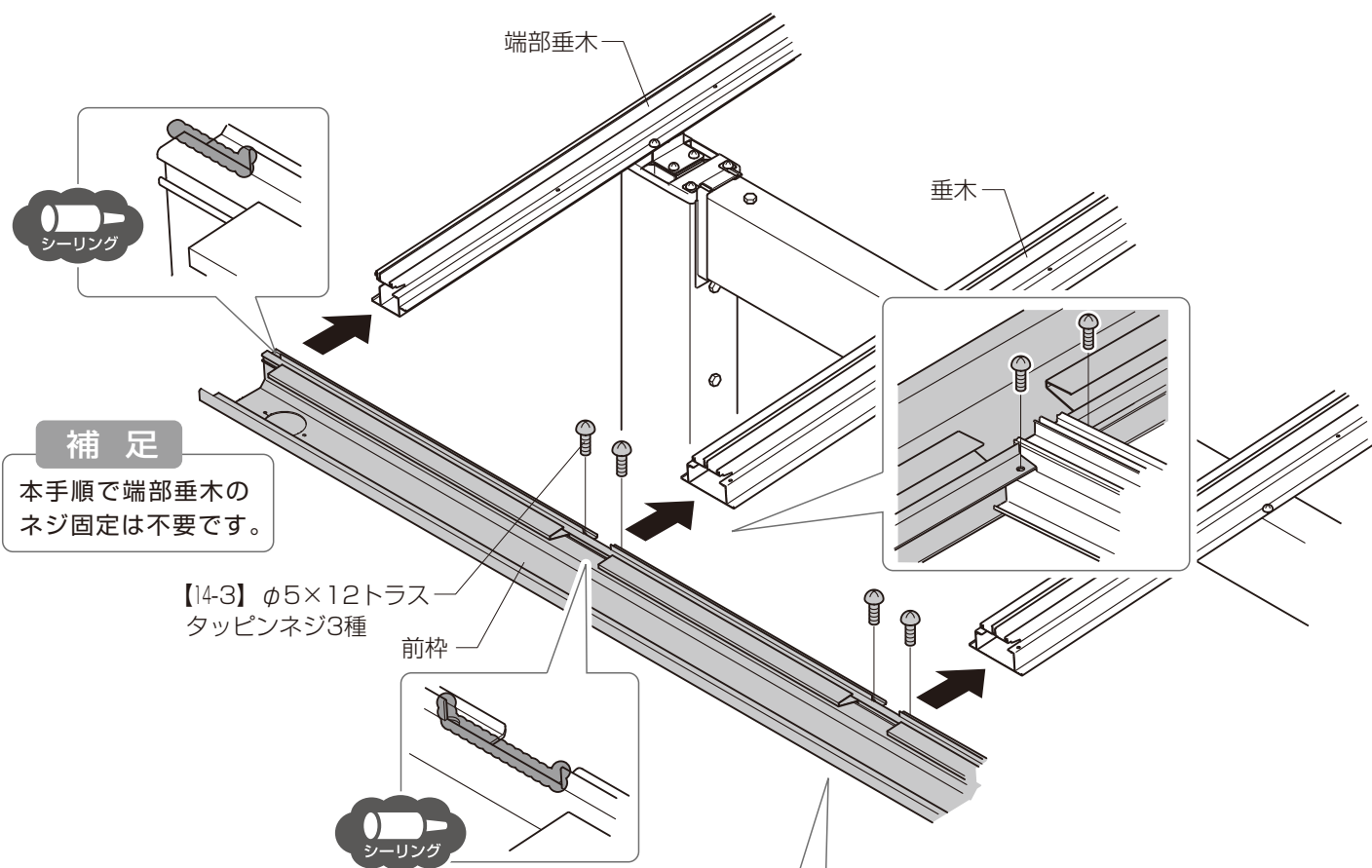
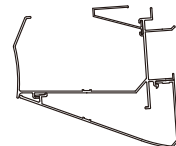
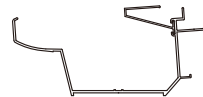
前枠はタイプによって部材が異なります。



【基本タイプ】
の場合

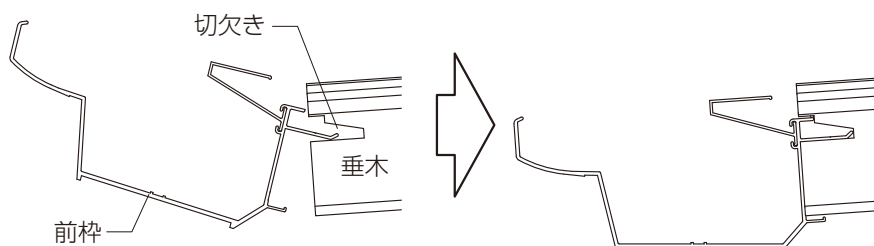


【プラスタイプ】
の場合

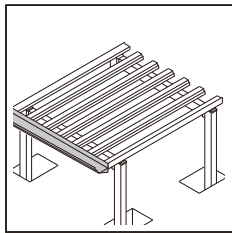


お 願 い

前枠を斜めに傾けながら垂木の切欠きに差込んでください。



2 雨樋部品取付け

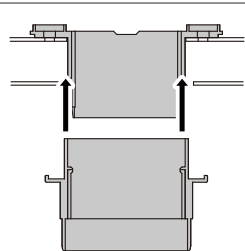


【プラスチック】の場合の作業です。

- ①雨樋アタッチメントA、雨樋アタッチメントB、雨樋穴ふさぎ材Bにシーリングをしてください。
- ②前枠片方の水抜き穴に雨樋アタッチメントAを【I4-3】で取付けてください。
- ③雨樋アタッチメントBを雨樋アタッチメントAに差し込んでください。
- ④逆側の水抜き穴に雨樋穴ふさぎ材Aを【I4-3】で取付けてください。
- ⑤雨樋穴ふさぎ材Bを前枠に取付けてください。
- ⑥雨樋アタッチメントA、雨樋穴ふさぎ材Aの周囲にシーリングしてください。

お願い

雨樋アタッチメントBを雨樋アタッチメントAに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

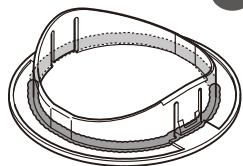


【I4-3】φ5×12トラス
タッピンネジ3種

雨樋穴ふさぎ材A

前枠

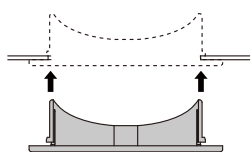
シーリング



雨樋穴ふさぎ材B

お願い

雨樋穴ふさぎ材Bを前枠に「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

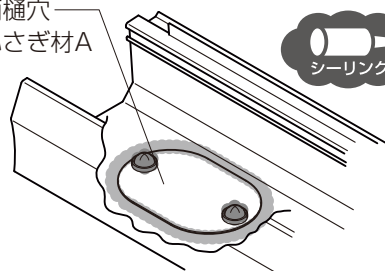


お願い

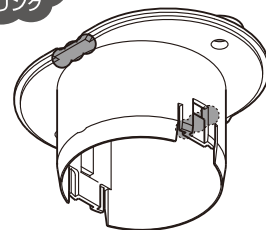
雨樋穴ふさぎ材Aの周囲に必ずシーリングをしてください。

雨樋穴
ふさぎ材A

シーリング



シーリング



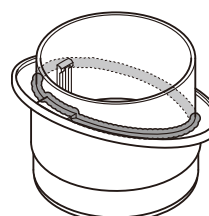
【I4-3】φ5×12
トラスタッピン
ネジ3種

雨樋
アタッチメントA

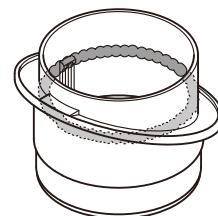
水抜き穴

雨樋
アタッチメントB

シーリング



外側シーリング



内側シーリング

雨樋アタッチメントAの周囲に必ずシーリングをしてください。

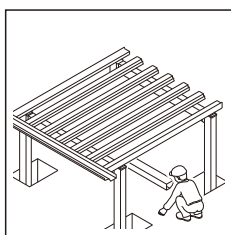
雨樋アタ
achmentA

シーリング



9 後枠の取付け

1 部材の取付け



①後枠屋根材受け（後枠屋根材押さえ）を後枠に差し込んでください。

補 足

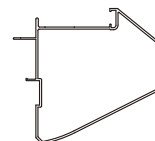
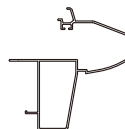
後枠はタイプによって部材が異なります。



【基本タイプ】
の場合



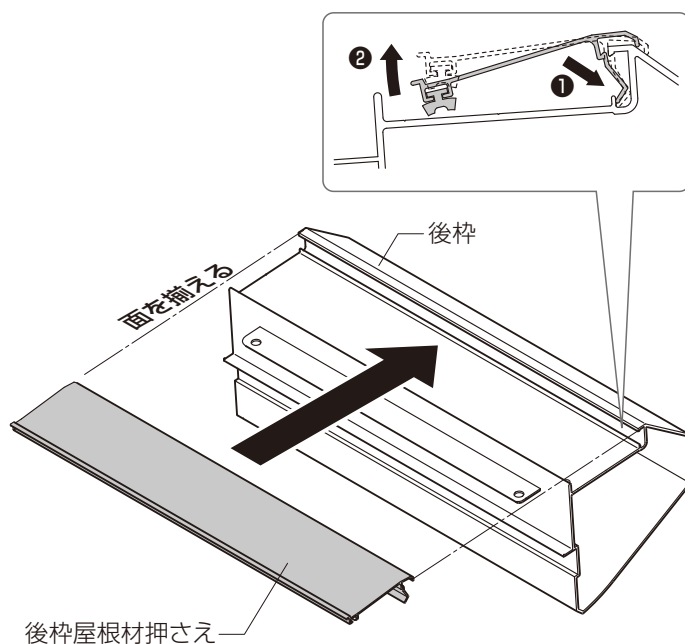
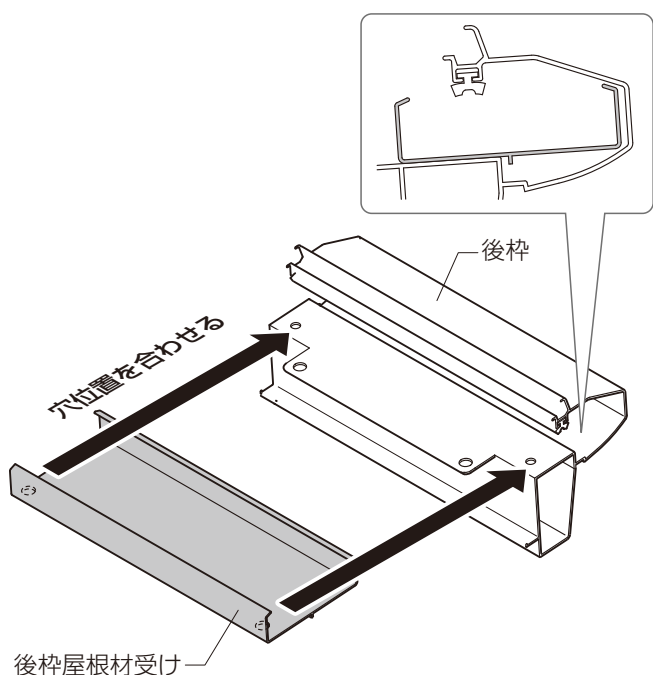
【プラスタイプ】
の場合



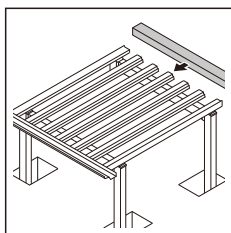
【基本タイプ】の場合の作業です。



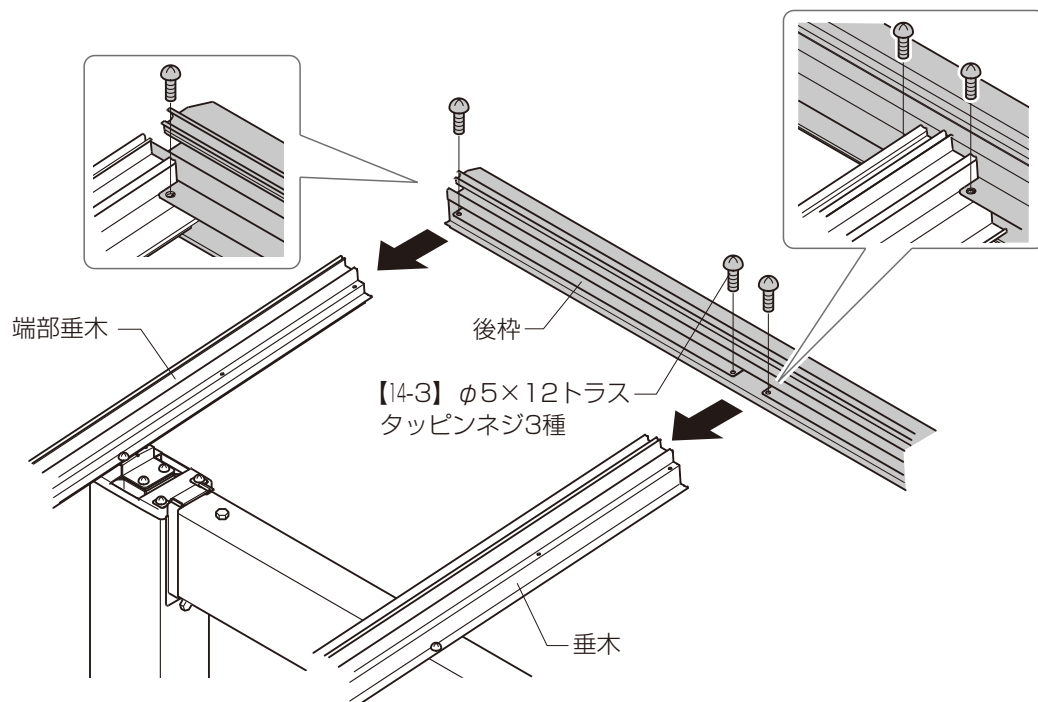
【プラスタイプ】の場合の作業です。



2 後枠の取付け

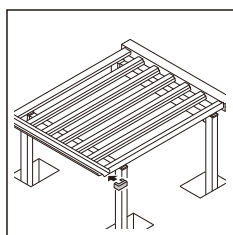


①後枠を端部垂木と垂木に【I4-3】で取付けてください。

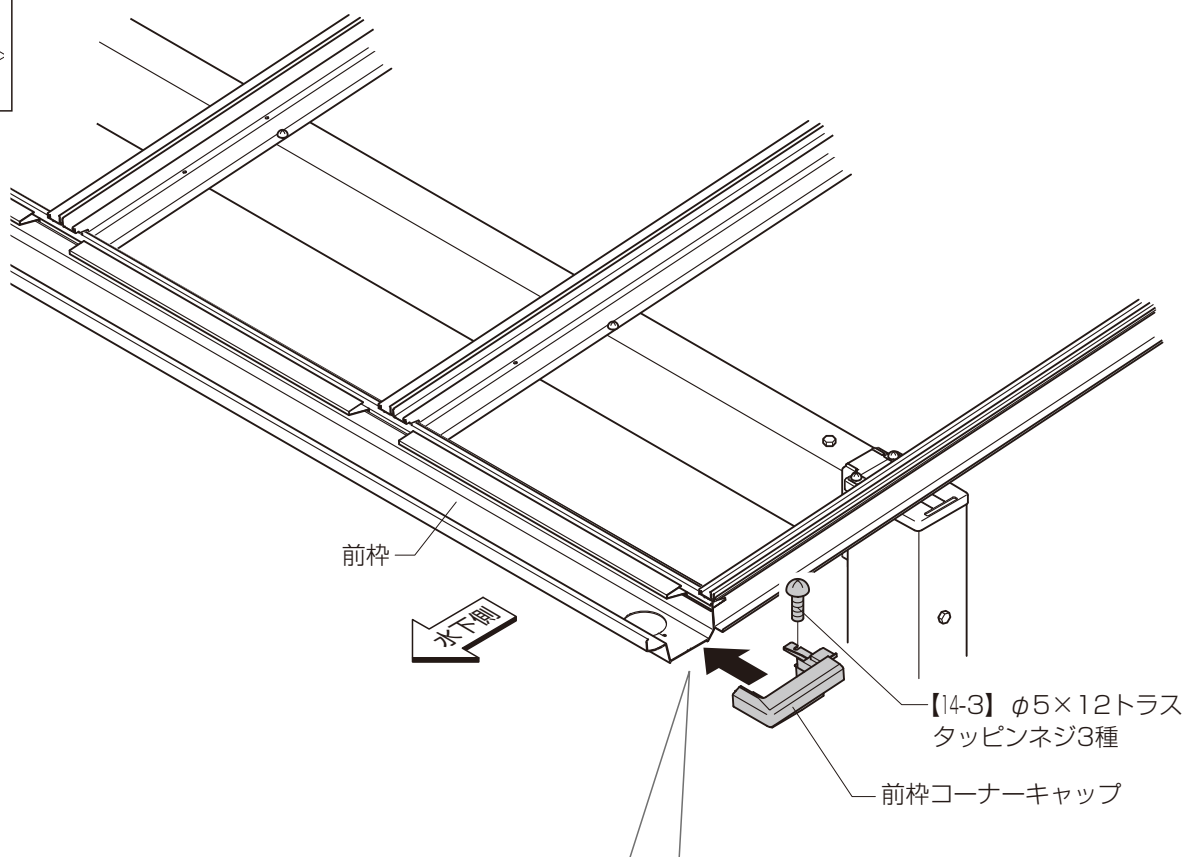


10 側枠の取付け

1 前枠コーナーキャップの取付け



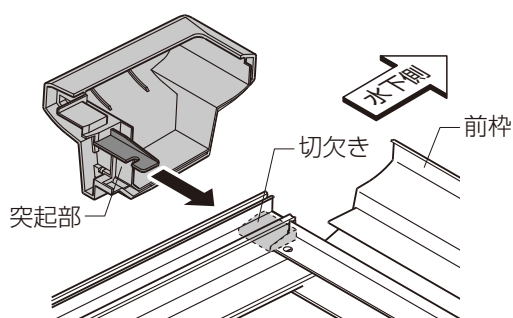
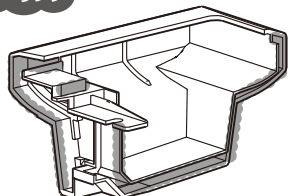
- ①前枠コーナーキャップにシーリングをしてください。
- ②前枠コーナーキャップを前枠にはめ込み【14-3】で取付けてください。



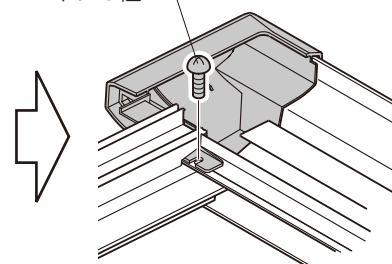
【基本タイプ】の場合



シーリング



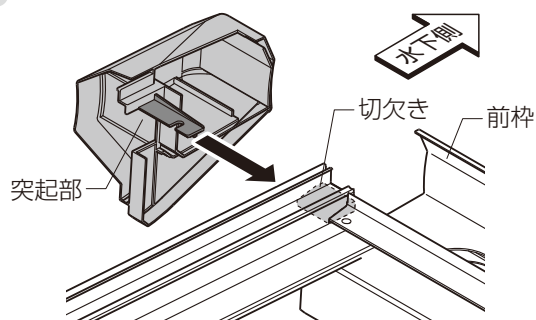
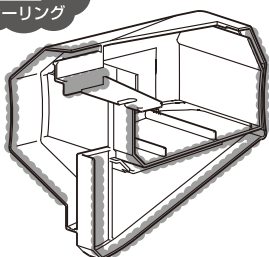
【14-3】φ5×12
トラスタッピン
ネジ3種



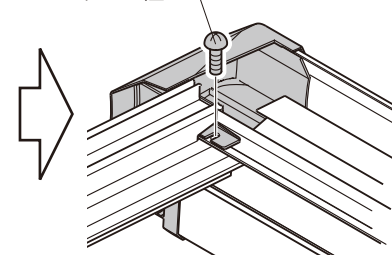
【プラスタイプ】の場合



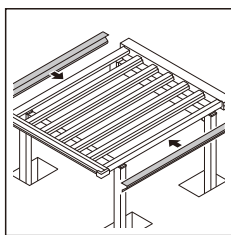
シーリング



【14-3】φ5×12
トラスタッピン
ネジ3種



2 側枠の取付け



- ①端部垂木と前枠コーナーキャップの接合部にシーリングをしてください。
- ②側枠を端部垂木に取付けてください。
- ③側枠を前枠コーナーキャップに突き当ててください。

お願い

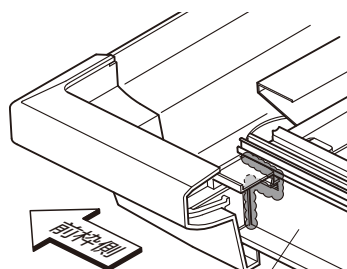
プラスタイプも同様の手順で組付けてください。



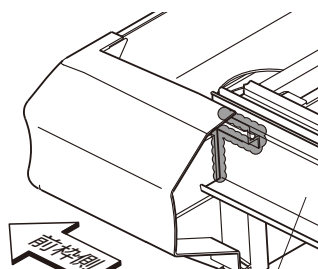
【基本タイプ】
の場合



【プラスタイプ】
の場合



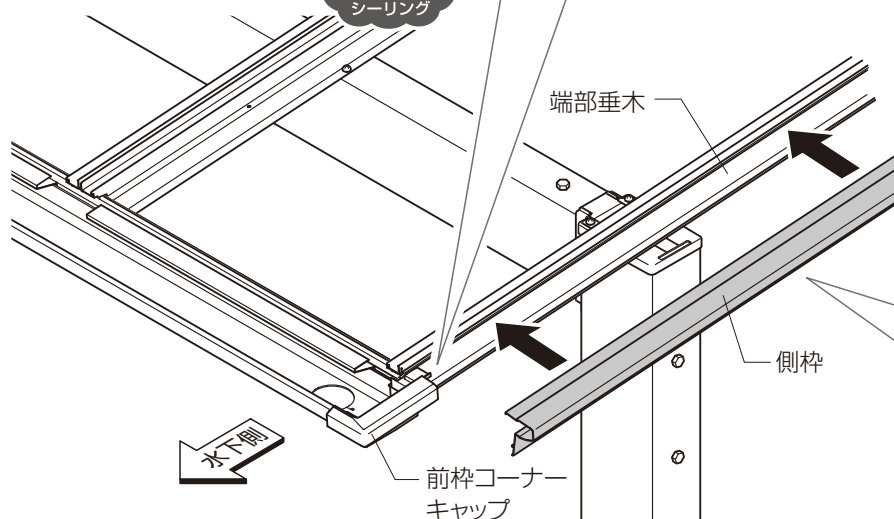
端部垂木



端部垂木



シーリング

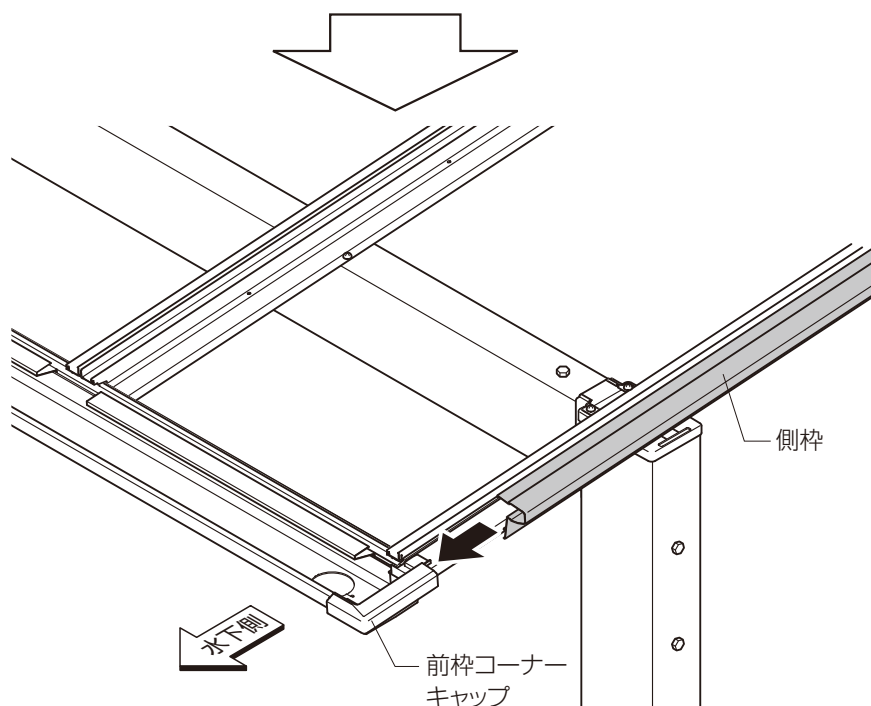


端部垂木

側枠

前枠コーナー
キャップ

水下側



側枠

前枠コーナー
キャップ

水下側

補 足

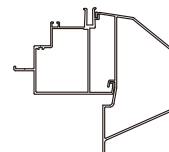
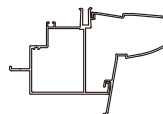
側枠はタイプによって部材が異なります。



【基本タイプ】
の場合

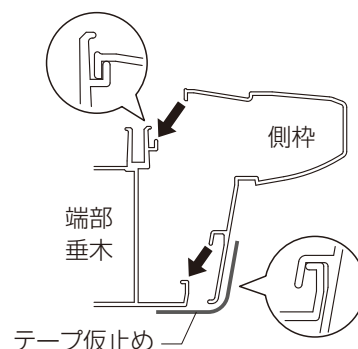


【プラスタイプ】
の場合



補 足

- ・側枠の上下のツメを端部垂木にしっかりと引っ掛けて取付けてください。
- ・「14 垂木カバーの取付け」の行程までテープなどで側枠を仮止めしてください。側枠カバーの取付けまで側枠は固定されていません。
- ・プラスタイプの場合も同様に取付けてください。

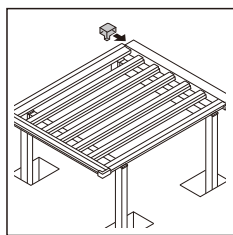


側枠

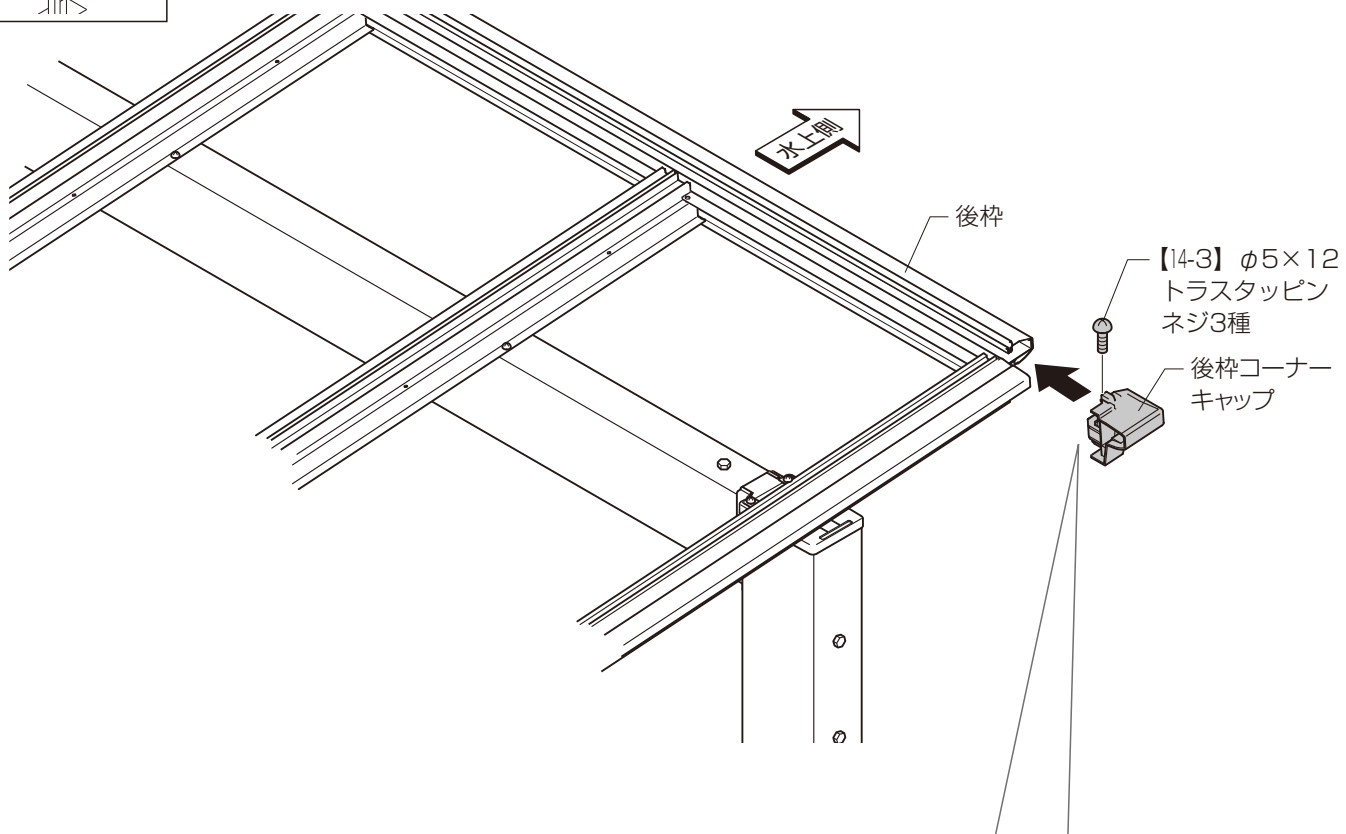
端部
垂木

テープ仮止め

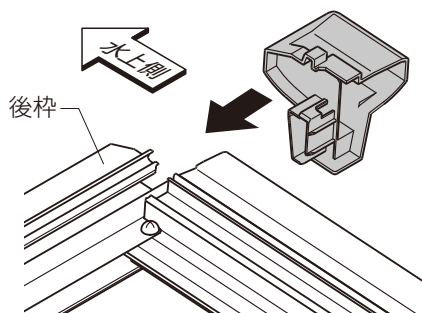
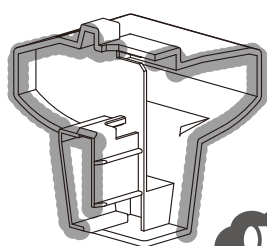
3 後枠コーナーキャップの取付け



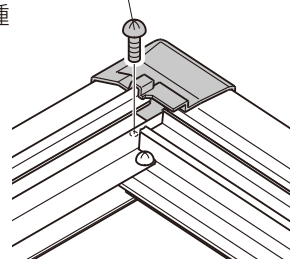
- ①後枠コーナーキャップにシーリングをしてください。
- ②後枠コーナーキャップを後枠に差込み【I4-3】で取付けてください。



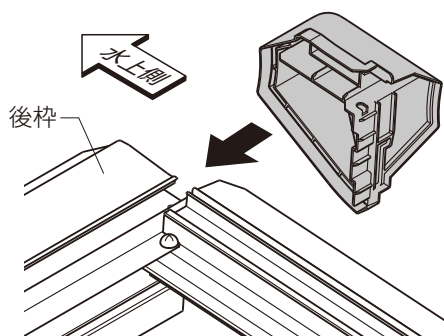
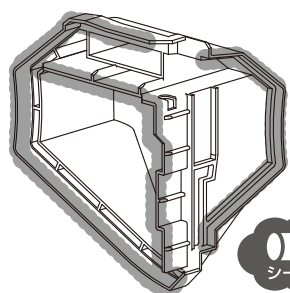
【基本タイプ】の場合



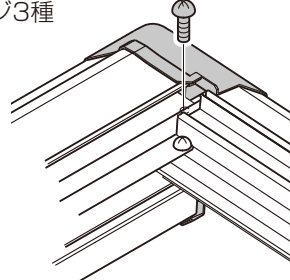
【I4-3】φ5×12
トラストッピン
ネジ3種



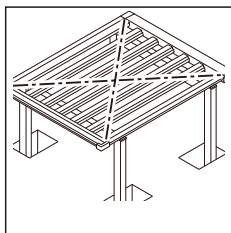
【プラスタイプ】の場合



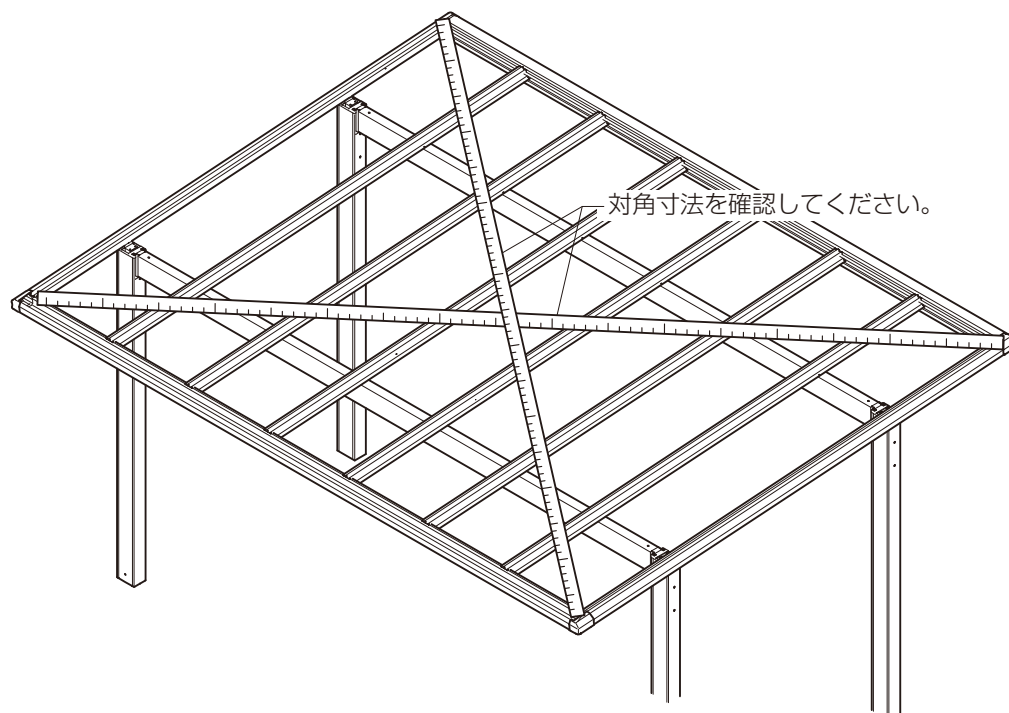
【I4-3】φ5×12
トラストッピン
ネジ3種



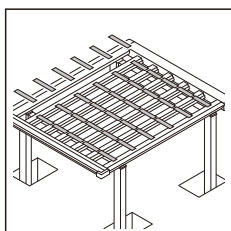
11 対角寸法の確認



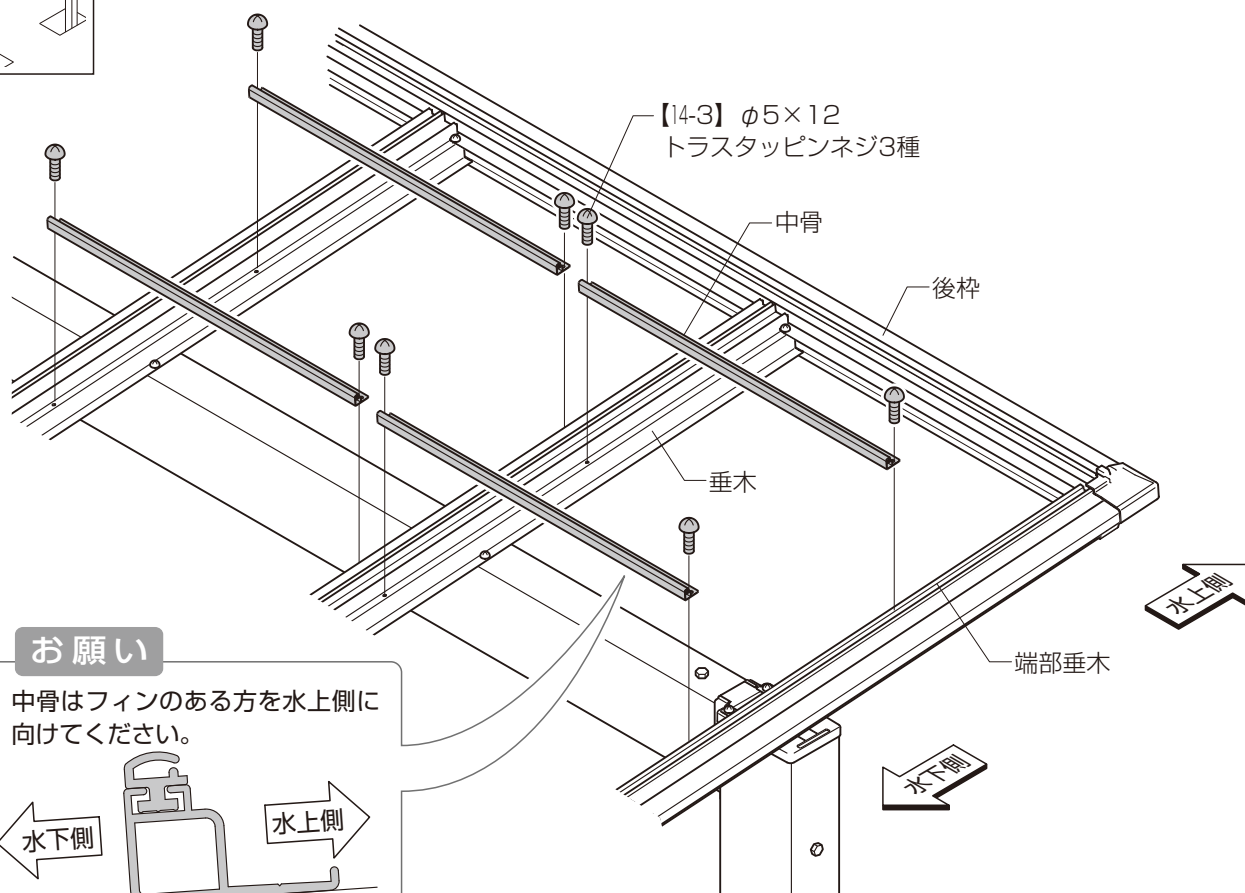
①屋根枠まわりの対角寸法をそろえてください。



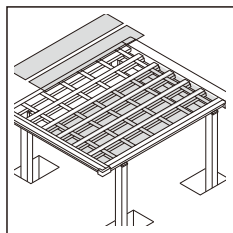
12 中骨の取付け



①中骨を端部垂木と垂木に【I4-3】で取付けてください。



13 屋根材の取付け



①屋根材を後枠のカバー部、前枠の屋根材受けに差込んでください。



【基本タイプ】
の場合

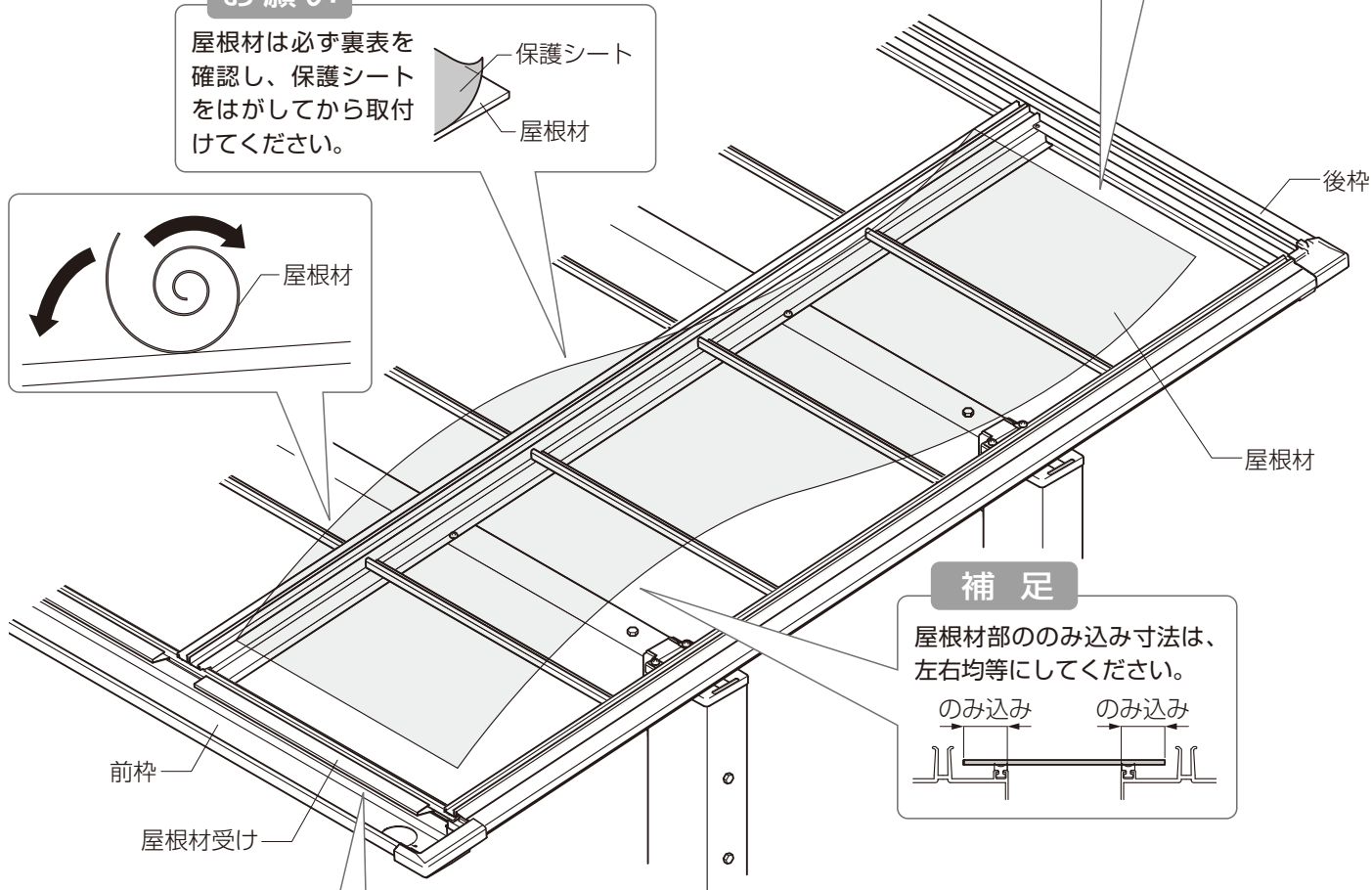
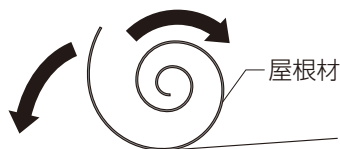
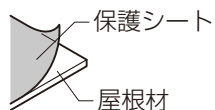


【プラスタイプ】
の場合



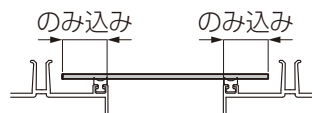
お願い

屋根材は必ず裏表を確認し、保護シートをはがしてから取付けてください。



補足

屋根材部ののみ込み寸法は、左右均等にしてください。

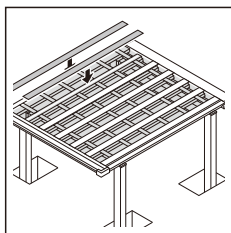


お願い

屋根材は屋根材受けに突き当ててください。



14 垂木カバーの取付け



- ①垂木カバーを垂木に【I4-3】で取付けてください。
- ②側枠カバーを端部垂木に【I4-3】で取付けてください。
- ③垂木カバーにシーリングをしてください。



【耐風圧仕様】の場合
「屋根材ホルダー取り付け説明書
<D614>」も参照してください。

お願い

ネジの浮き・傾きがないように取付けてください。



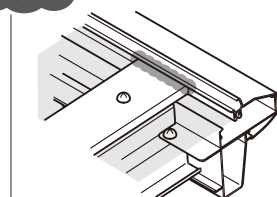
ネジの浮き



ネジの傾き



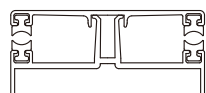
ネジの浮き・傾きなし



お願い

【取付ける際は】

垂木と垂木カバーがかみ合っていることを確認してください。



お願い

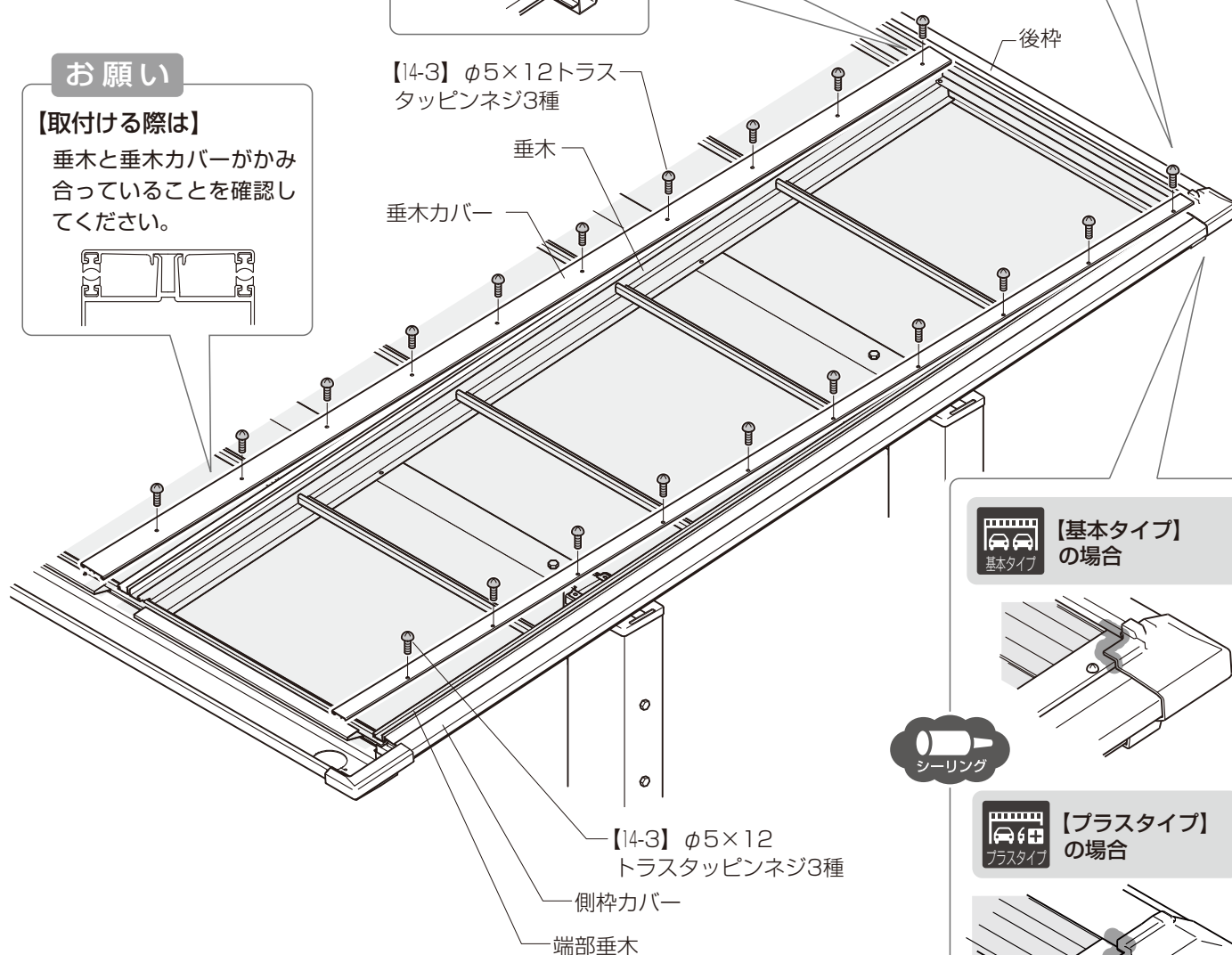
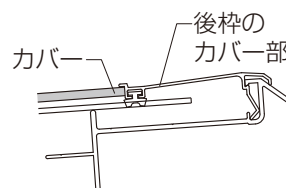
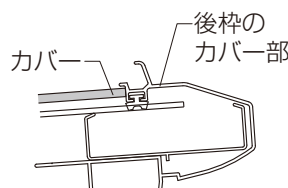
- ・後枠側から取付けてください。
- ・後枠のカバー部に突き当てて取付けてください。



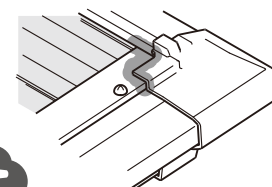
【基本タイプ】
の場合



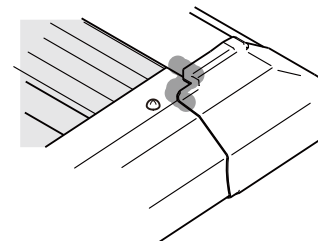
【プラスタイプ】
の場合



【基本タイプ】
の場合

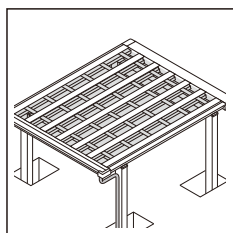


【プラスタイプ】
の場合



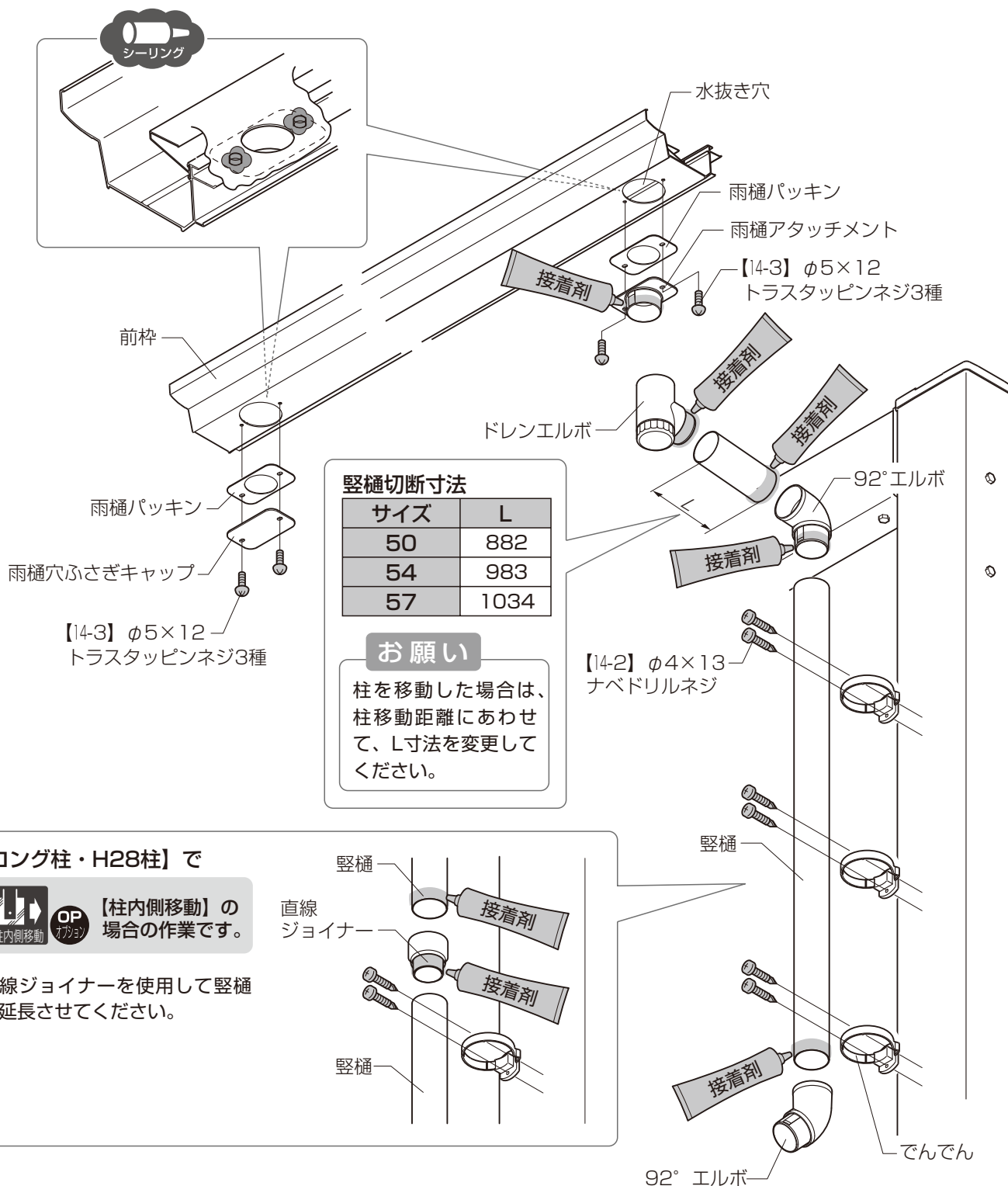
15 縦樋の取付け

□基本タイプの場合

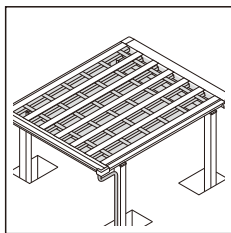


【基本タイプ】の場合の作業です。

- ① 縦樋を切断してください。
- ② 前枠片方の水抜き穴に「雨樋パッキン」「雨樋アタッチメント」を【14-3】で取付けてください。
- ③ 柱に「でんでん」を【14-2】で取付けてください。
- ④ 「ドレンエルボ」「縦樋」「92° エルボ」を接着剤で取付けてください。
- ⑤ 逆側の水抜き穴に「雨樋パッキン」「雨樋穴ふさぎキャップ」を【14-3】で取付けてください。

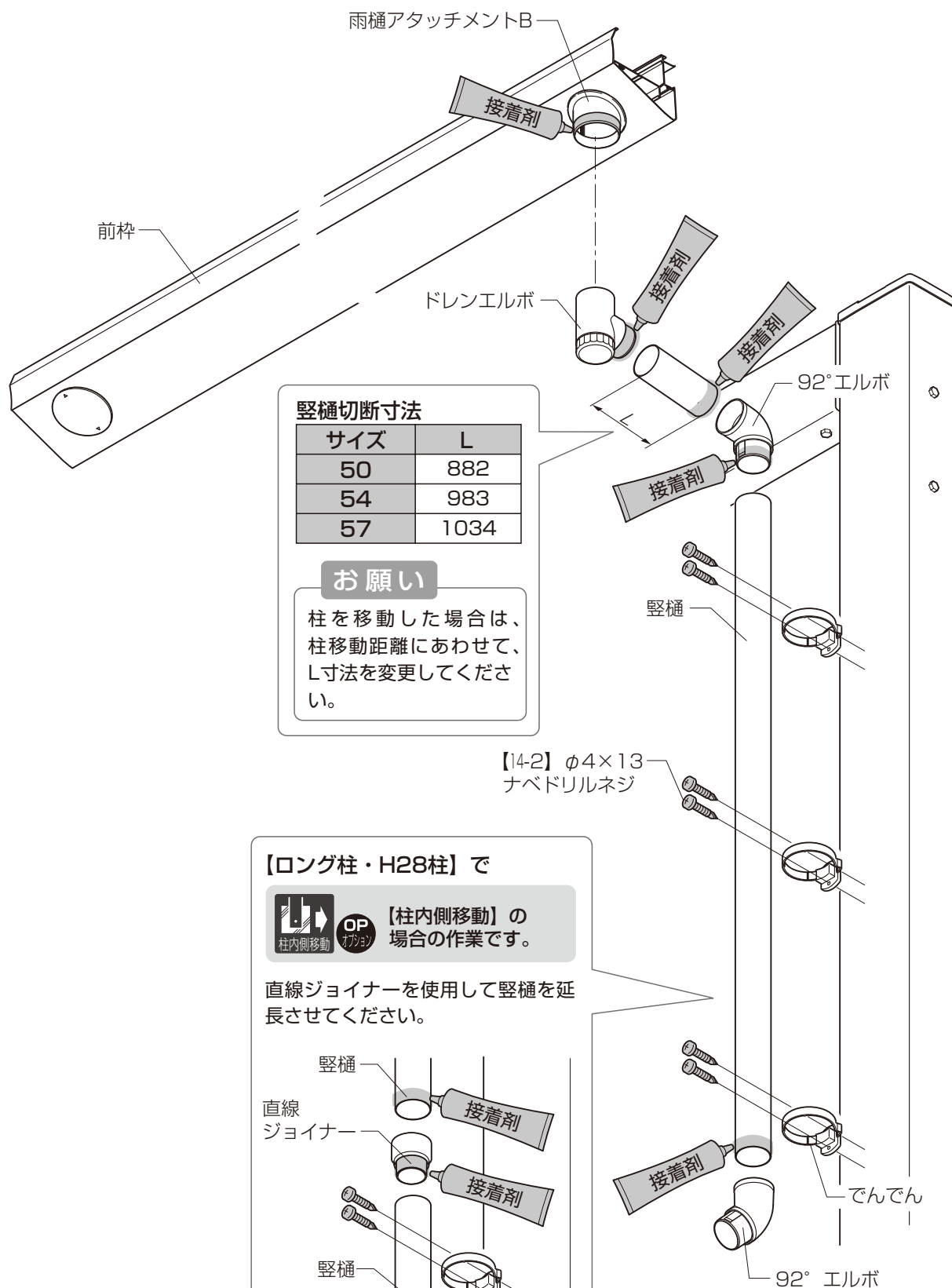


□ プラスタイプの場合



【プラスタイプ】の場合の作業です。

- ① 縦樋を切断してください。
- ② 柱に「でんでん」を【I4-2】で取付けてください。
- ③ 「ドレンエルボ」「縦樋」「92° エルボ」を接着剤で取付けてください。



縦樋切断寸法

サイズ	L
50	882
54	983
57	1034

お願い

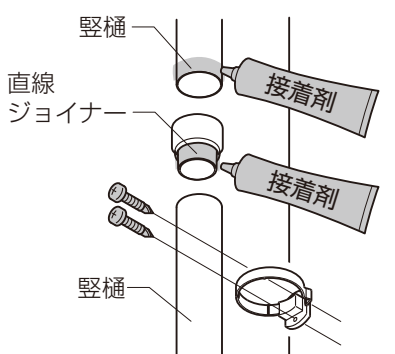
柱を移動した場合は、柱移動距離にあわせて、L寸法を変更してください。

【ロング柱・H28柱】で



【柱内側移動】の
場合の作業です。

直線ジョイナーを使用して縦樋を延長させてください。



縦連棟の施工方法



【縦連棟】の場合の作業です。

確認事項

姿図

⚠ 注意



【柱移動】をした場合

柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。



【柱内側移動】をした場合

片側300mm以内で柱移動をしてください。

お願い

柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。



柱を建込む際は、P.12「① 柱の加工」も参照してください。

補 足



印は【柱移動】
範囲を示します。



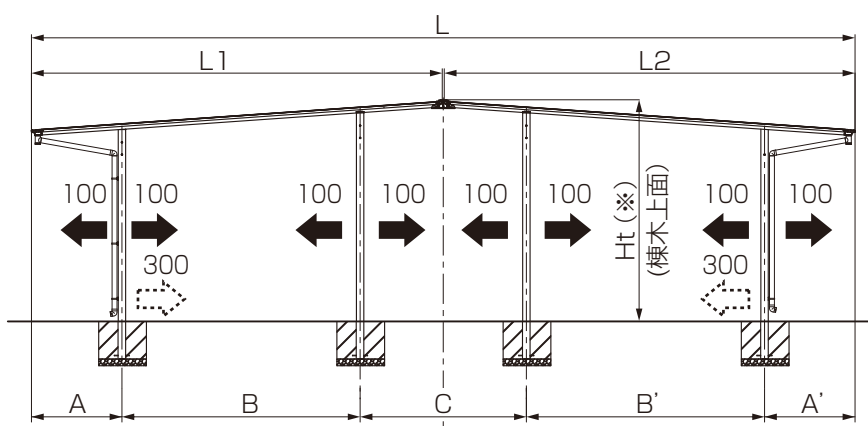
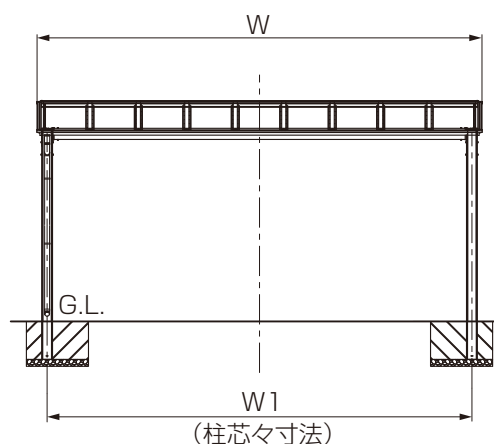
印は【柱内側移動】
範囲を示します。

【ロング柱の場合】

高さ寸法に+250してください。

【H28柱の場合】

高さ寸法に+550してください。

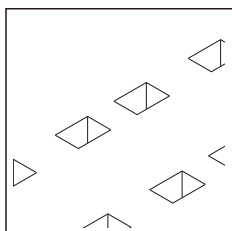


Ht (※) 以外の高さ寸法については
「P.10」を参照してください。

間口	W	W1
W48	4827	4583
W54	5417	5173
W60	6007	5763

奥行	L	L1	L2	A	B	C	B'	A'	H
L50-L50	10027	5002	5002	1102	2900	2024	2900	1102	2700
L54-L54	10828	5402	5402	1201	3100	2224	3100	1201	2721
L57-L57	11426	5701	5701	1251	3300	2324	3300	1251	2739

基礎の墨出し



① 柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

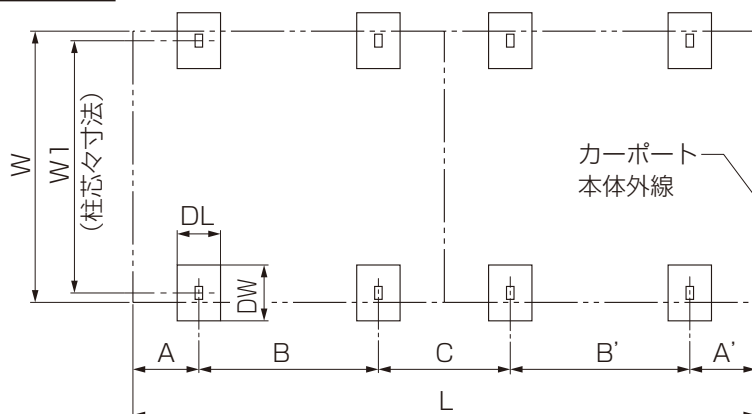


【基礎寸法数値について】
基礎寸法「DW」「DL」「DH」は「P.11」を
参照してください。



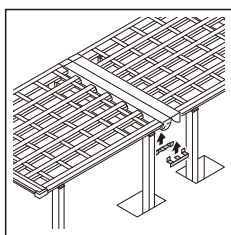
下記のオプションを取付ける場合は、対応した取
付説明書を併せて参照してください。

【カーポートライト】
「エスコートスポットライト 取付説明書 (Z542)」
「カーポートライト用台座セット 取付説明書 (Z545)」
【コンセントフレーム】
「コンセントフレーム 取付説明書 (D499)」



1 本体の組立て

1 奥行連棟合掌連結材の取付け



- ①垂木にφ7の貫通穴をあけてください。
- ②奥行連棟合掌連結材を垂木に【15-2】、【15-4】、【15-5】、【15-6】で取付けてください。
- ③後枠のフィンに奥行連棟止水パッキンを張付けてください。

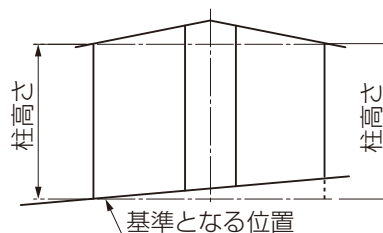
補 足

【連棟部以外の取付けは】

「基本タイプの施工方法」を参照してください。

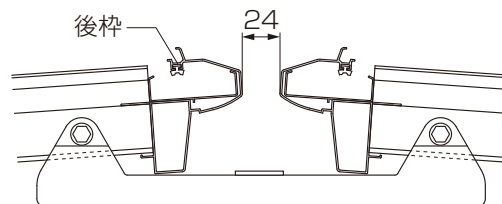
お 願 い

柱は基準となる位置から同じ高さとしてください。棟木に水がたまり、漏水するおそれがあります。また縦連棟用棟木の取付けに支障をきたす場合があります。



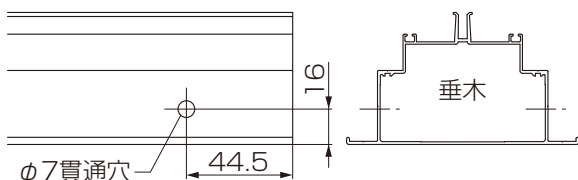
お 願 い

後枠と後枠の間隔が24mmであることを確認してください。



補 足

奥行連棟合掌連結材を取付ける垂木のみ加工します。



φ7貫通穴加工

奥行連棟
止水パッキン

垂木

後枠

【15-2】 M6袋ナット

【15-5】 M6バネ座金

【15-6】 M6平座金

【15-6】 M6平座金

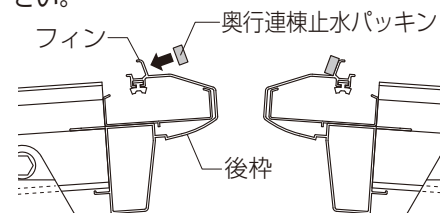
【15-5】 M6バネ座金

【15-4】 M6×85六角ボルト

奥行連棟合掌連結材

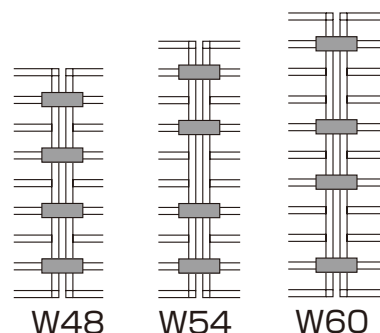
お 願 い

奥行連棟止水パッキンはすき間なく貼付けて、長い分はハサミなどでカットしてください。

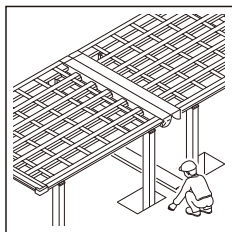


お 願 い

奥行連棟合掌連結材 (■) は図の位置に取付けてください。間口サイズが異なる場合は、サイズが小さい方にあわせて取付けてください。



2 縦連棟用棟木の組立て



- ①縦連棟用棟木を切断してください。
- ②縦連棟用棟木のボルトホールに【15-1】を8個挿入してください。
- ③端部キャップパッキン、端部キャップを縦連棟用棟木に【15-7】で取付けてください。
- ④端部キャップカバーを端部キャップに【15-7】で取付けてください。
- ⑤止水パッキンを端部キャップに張付けてください。

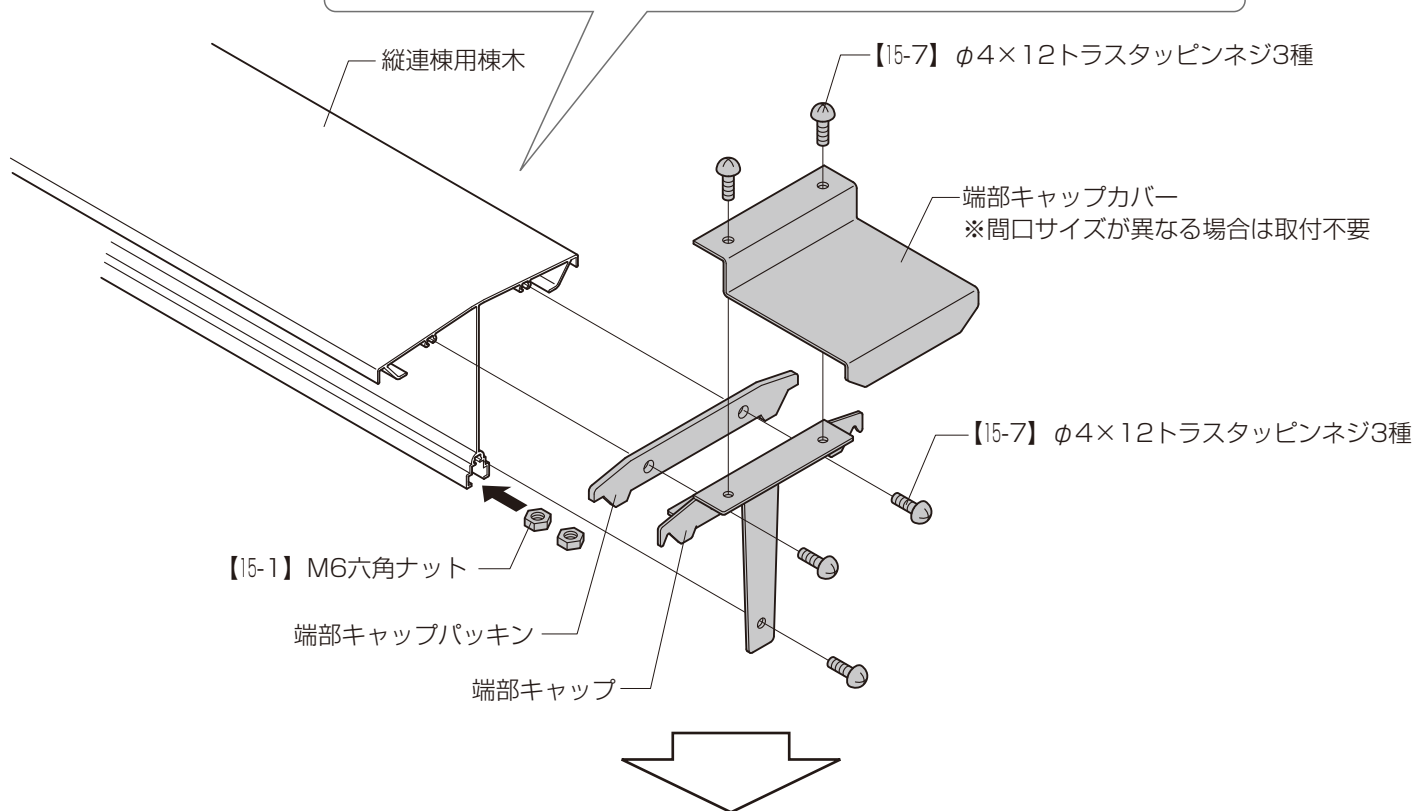
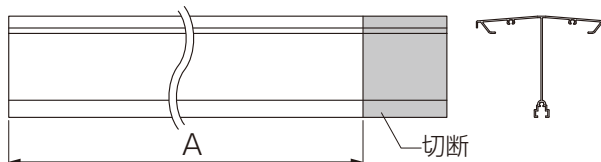
お願い

間口サイズが異なる場合は**端部キャップカバー**は取付け不要です。
端部キャップの穴は穴隠しシール、もしくは【15-7】で塞いでください。

【縦連棟用棟木の切断】

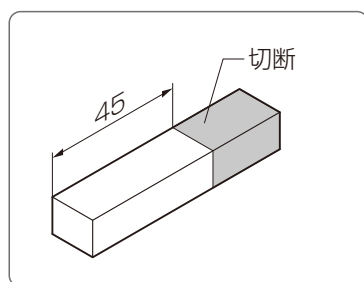
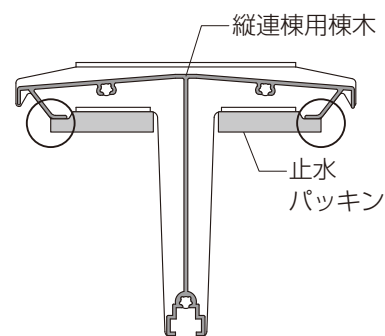
間口サイズが異なる場合は、サイズが小さい方にあわせて切断してください。

	A
W48	4670
W54	5260
W60	5850

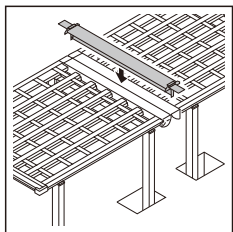


お願い

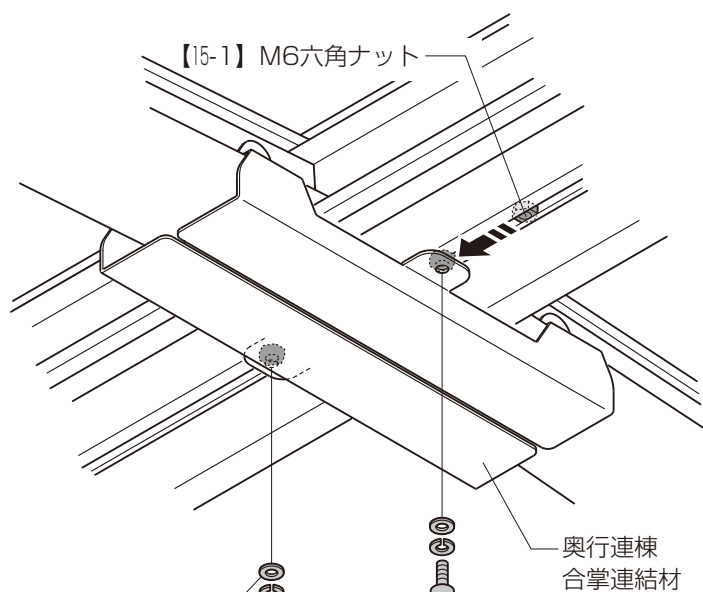
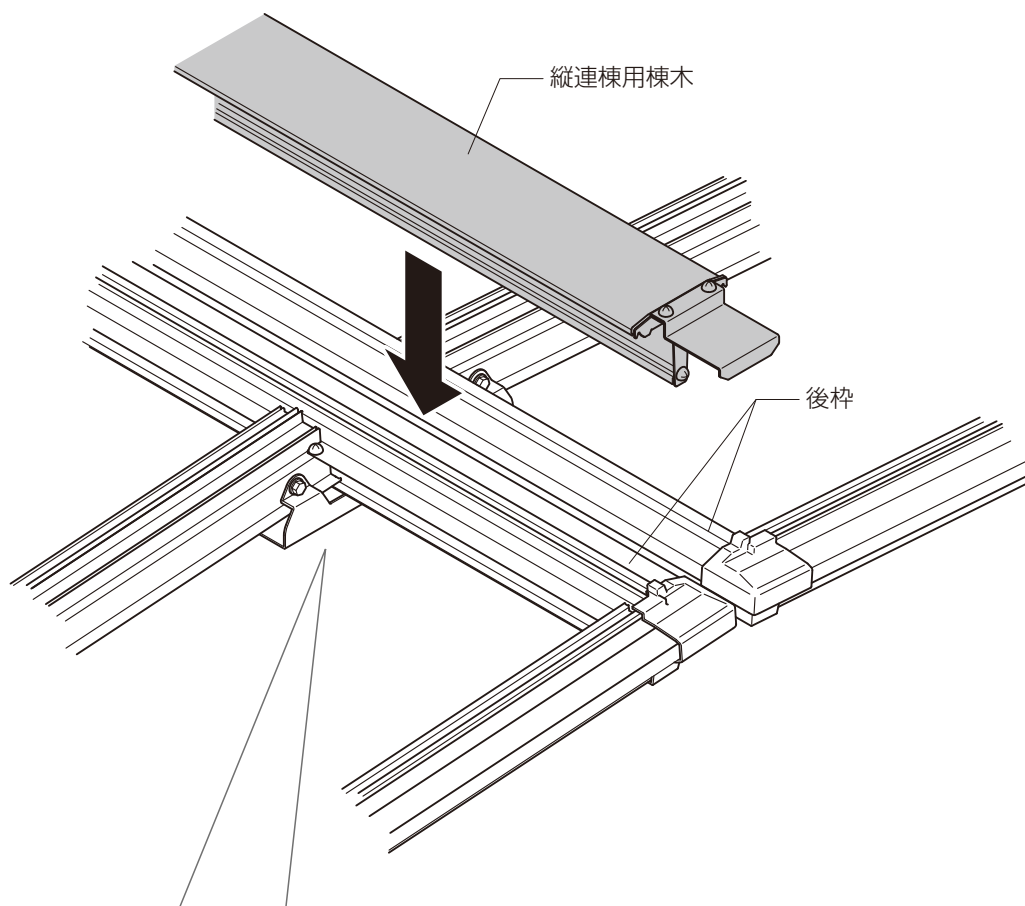
縦連棟用棟木の角に合わせて張付けてください。



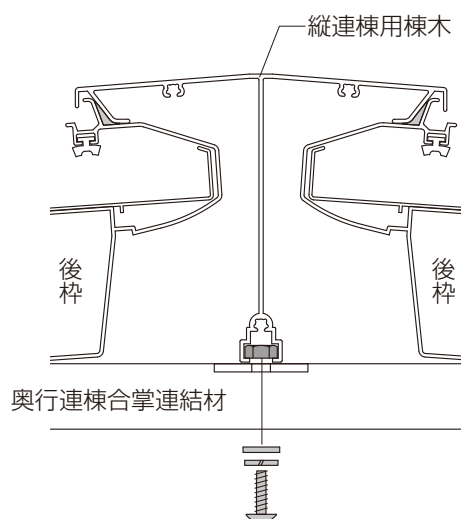
3 縦連棟用棟木の取付け



- ① 縦連棟用棟木を後枠と後枠の間に乗せてください。
- ② 奥行連棟合掌連結材と縦連棟用棟木を【15-3】、【15-5】、【15-6】で固定してください。



- 【15-6】 M6平座金
- 【15-5】 M6バネ座金
- 【15-3】 M6×14
トラス小ネジ



梁延長タイプの施工方法



【梁延長】の場合の作業です。

確認事項

姿図

注意



【柱移動】をした場合

柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。

お願い

柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。



P.33

【柱移動】の場合は、P.33「① 柱の加工」を参照してください。

補足

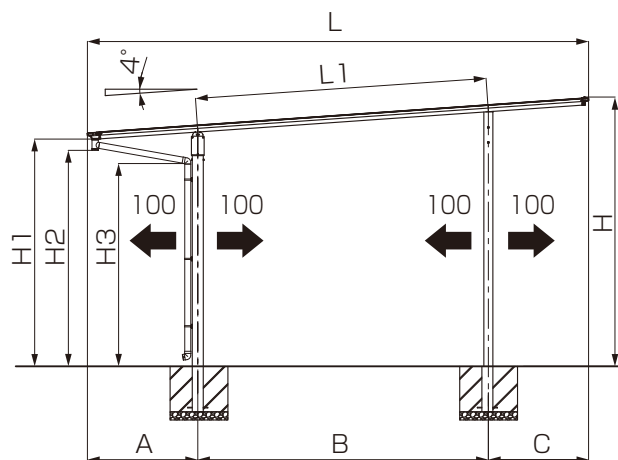
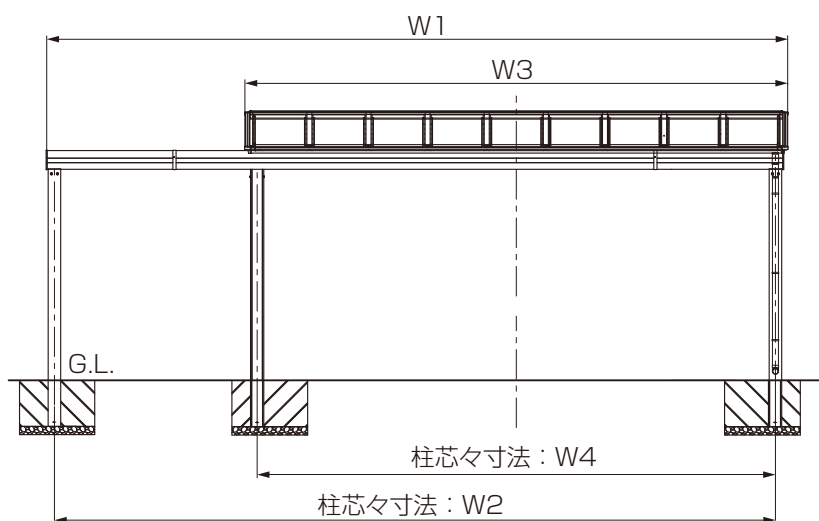
印は【柱移動】範囲を示します。

【ロング柱の場合】

高さ寸法に+250してください。

【H28柱の場合】

高さ寸法に+550してください。



【基本タイプの場合】



梁延長	W1	W2
70型	7395	7196
80型	8325	8126

間口	W3	W4
W48	4827	4583
W54	5417	5173
W60	6007	5763

奥行	L	A	B	C	H	H1	H2	H3
L50	5002	1102	2900	1000	2687	2268	2155	2022
L54	5402	1201	3100	1100	2708	2261	2148	1997
L57	5701	1251	3300	1150	2726	2257	2145	1985

【プラスタイプの場合】

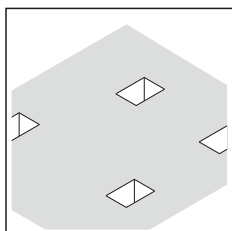


梁延長	W1	W2
70型	7396	7196
80型	8326	8126

間口	W3	W4
W48	4829	4583
W54	5419	5173
W60	6009	5763

奥行	L	A	B	C	H	H1	H2	H3
L50	5024	1078	2900	1046	2683	2230	2127	1994
L54	5424	1178	3100	1147	2704	2223	2120	1969
L57	5723	1228	3300	1196	2722	2219	2117	1957

基礎の墨出し



① 柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。



【基礎寸法数値について】

基礎寸法「DW」「DL」「DH」は「P.11」を参照してください。



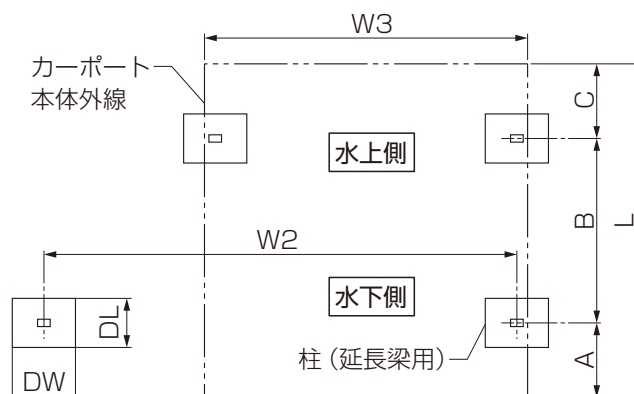
下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

【カーポートライト】

「エスコートスポットライト 取付説明書 (Z542)」
「カーポートライト用台座セット 取付説明書 (Z545)」

【コンセントフレーム】

「コンセントフレーム 取付説明書 (D499)」



補足

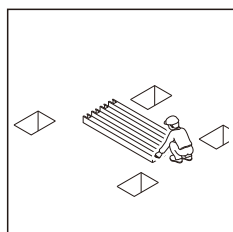
図は水下の梁延長の場合を示します。

1 柱の建込み

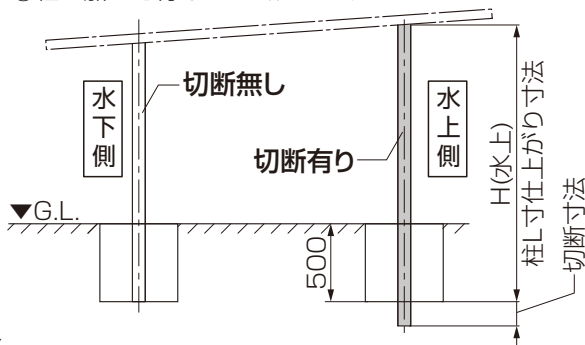
1 柱の加工

(1) 基本の場合

水上側を延長する場合の作業です。



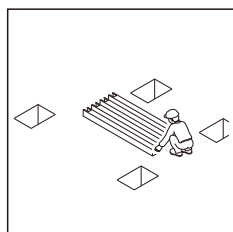
①柱に加工を行なってください。



H(水上) 寸法表

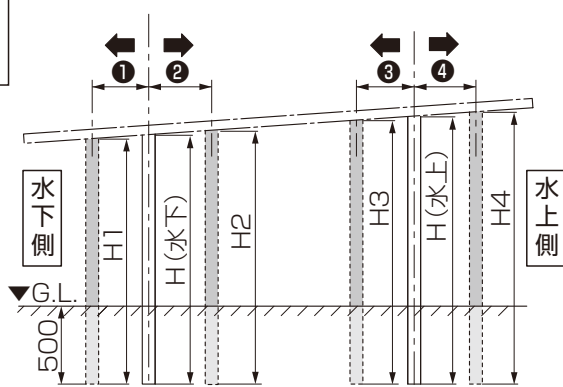
		H22	H25
L50	H(水上)	2814	3064
	切断寸法	(347)	(97)
L54	H(水上)	2828	3078
	切断寸法	(333)	(83)
L57	H(水上)	2842	3092
	切断寸法	(319)	(69)

(2) 柱移動の場合



【柱移動】の場合の作業です。

①柱に加工を行なってください。

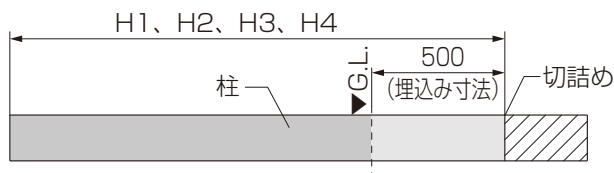


H(水下) 寸法表

		H22	H25	H28
L50・L54・L57	H(水下)	2611	2861	3161

H(水上) 寸法表

		H22	H25
L50	H(水上)	2814	3064
L54	H(水上)	2828	3078
L57	H(水上)	2842	3092



【水下側の場合】

$$H1 = H(\text{水下}) - 0.07 \times \text{移動距離} \textcircled{1}$$

$$H2 = H(\text{水下}) \times 1 \text{ (切断なし)}$$

※1の場合、水上側の柱を0.07×移動距離②の寸法分短くしてください。
(埋込み深さ調整または切断)

【水上側の場合】

$$H3 = H(\text{水上}) - 0.07 \times \text{移動距離} \textcircled{3}$$

$$H4 = H(\text{水上}) + 0.07 \times \text{移動距離} \textcircled{4}$$

2 柱の建て込み

お願い

柱を固定する前に柱間の対角寸法を確認してください。

- ①アンカー棒を柱に差込んでください。
- ②柱のG.L.付近(地上側)にφ6水抜き穴をあけてください。
- ③柱を基礎穴に建込んでください。

補足

図は水下の梁延長の場合を示します。

お願い

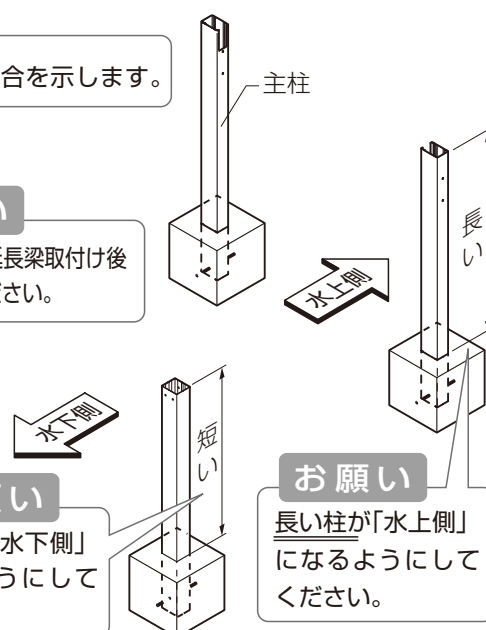
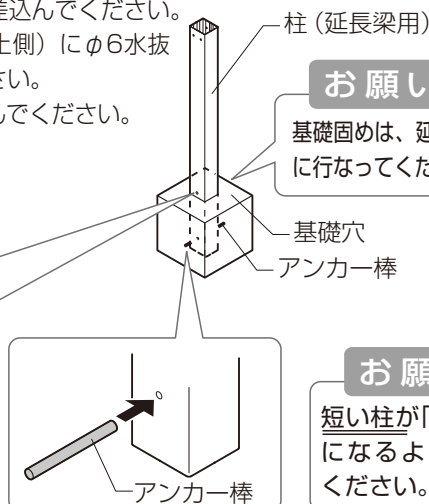
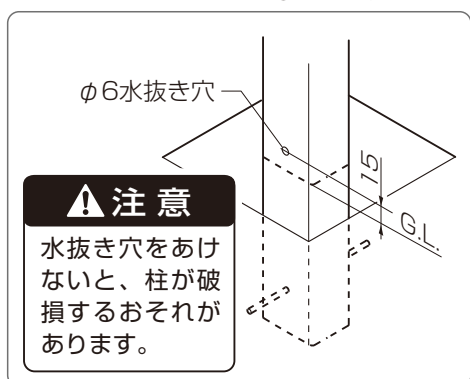
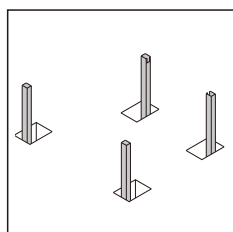
基礎固めは、延長梁取付け後に行なってください。

お願い

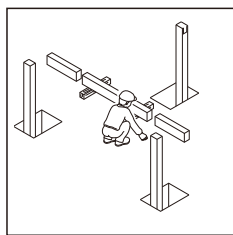
短い柱が「水下側」になるようにしてください。

お願い

長い柱が「水上側」になるようにしてください。



2 延長梁の組立て

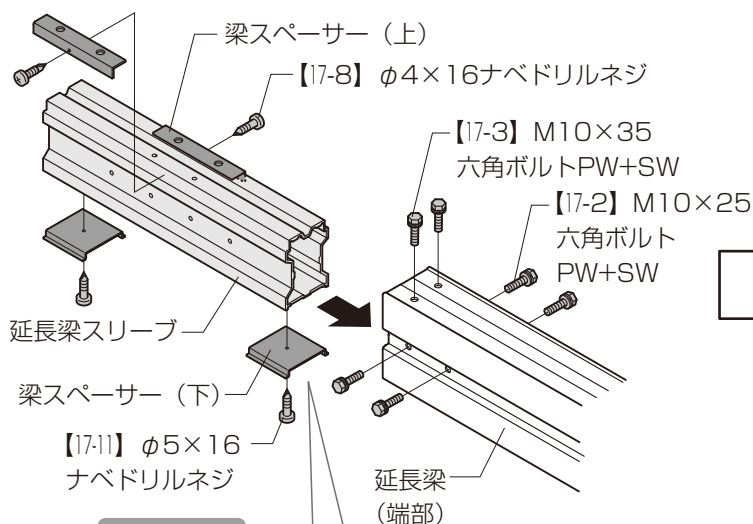
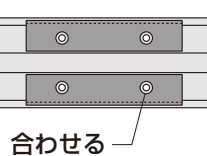


- ① 梁スペーサー（上）を延長梁スリーブに【17-8】で取付けてください。
- ② 梁スペーサー（下）を延長梁スリーブに【17-11】で取付けてください。
- ③ 延長梁スリーブを延長梁（端部）に【17-2】、【17-3】で取付けてください。
- ④ 延長梁（端部）を延長梁（中間）の両端に【17-2】、【17-3】で取付けてください。

お願い

・ 梁スペーサー（上）は必ず取付けてください。強度低下・製品破損のおそれがあります。

・ 梁スペーサー（上）と梁延長スリーブの穴を合わせて取付けてください。

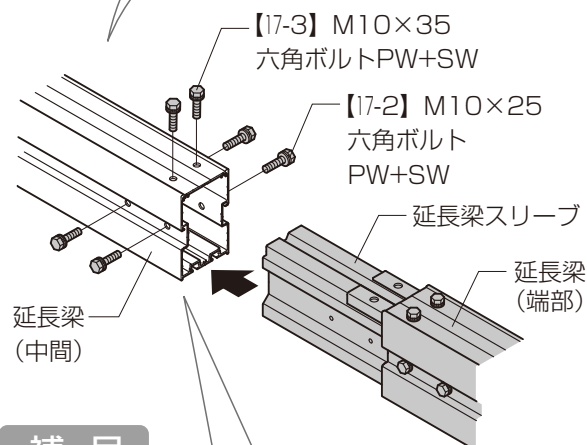


お願い

梁スペーサー（下）と梁延長スリーブの端部を合わせてください。

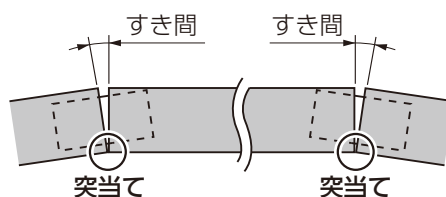
お願い

延長梁（中間）はフカシ材の上にタテ置きに置いてください。

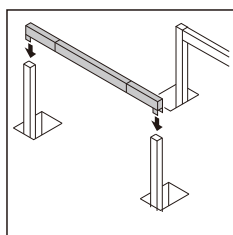


補足

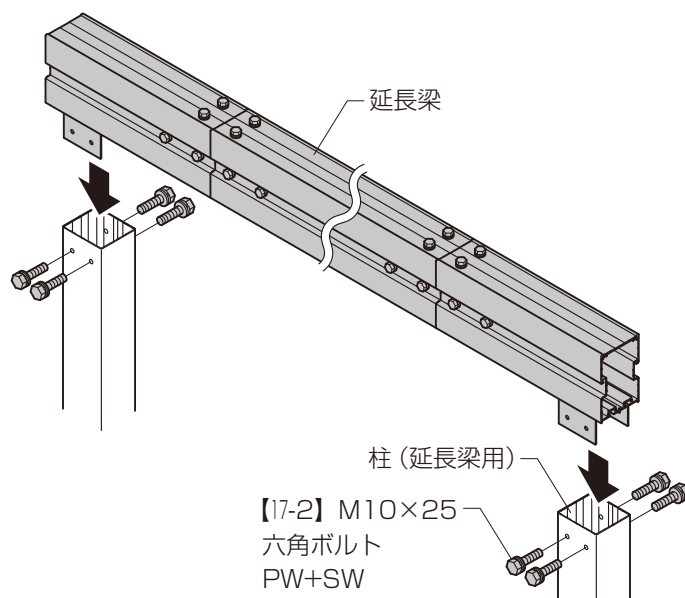
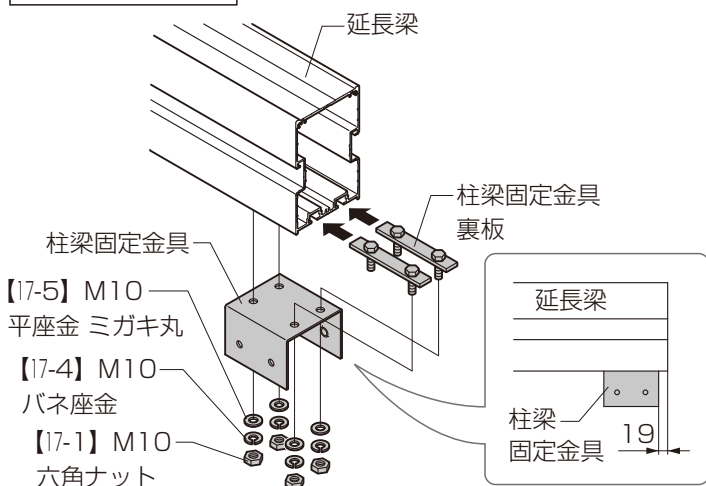
延長梁の連結部分上部はすき間があります。



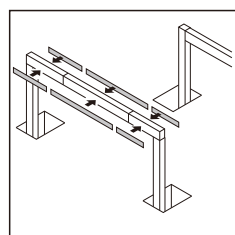
3 柱と延長梁の取付け



- ① 柱梁固定金具裏板を延長梁に挿入してください。
- ② 柱梁固定金具を柱梁固定金具裏板に【17-1】、【17-4】、【17-5】で取付けてください。
- ③ 延長梁を柱（延長梁用）に【17-2】で取付けてください。



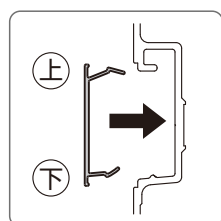
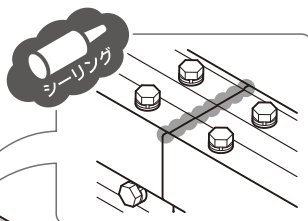
4 カバーの取付け



- ①延長梁カバーを延長梁に取付けてください。
- ②延長梁連結部の上部をシーリングしてください。
- ③延長梁にφ3.5の下穴をあけ、延長梁連結カバーを【17-6】、【17-7】で取付けてください。

お願い

当て木を使用して
ください。



延長梁
カバー

延長梁

【下穴加工】

写し穴φ3.5
(上面も同様)

連結部の中心に合わせる

φ3.5下穴

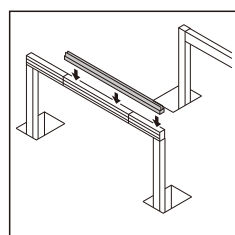
φ3.5下穴

【17-6】φ4×10
ナベタッピンネジ3種

【17-7】φ4×12
トラスタッピン
ネジ3種

延長梁連結カバー

5 延長梁スペーサー（受け材）の取付け

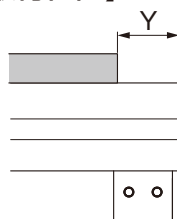


- ①延長梁スペーサー（受け材）を延長梁に【17-10】で取付けてください。

延長梁スペーサー（受け材）

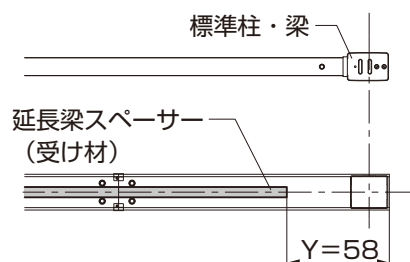
【17-10】φ5×13ナベドリルネジ

【取付位置】

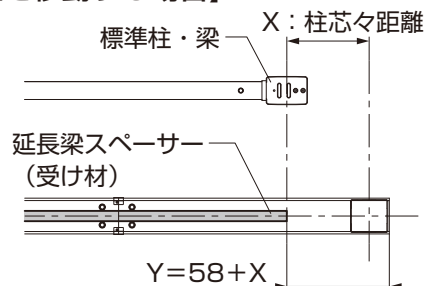


Y：延長梁材部～
延長梁スペーサー受け材（端部）

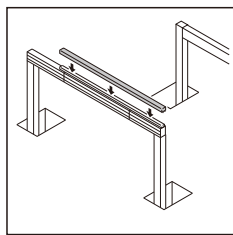
【柱芯合わせの場合】



【柱を移動する場合】



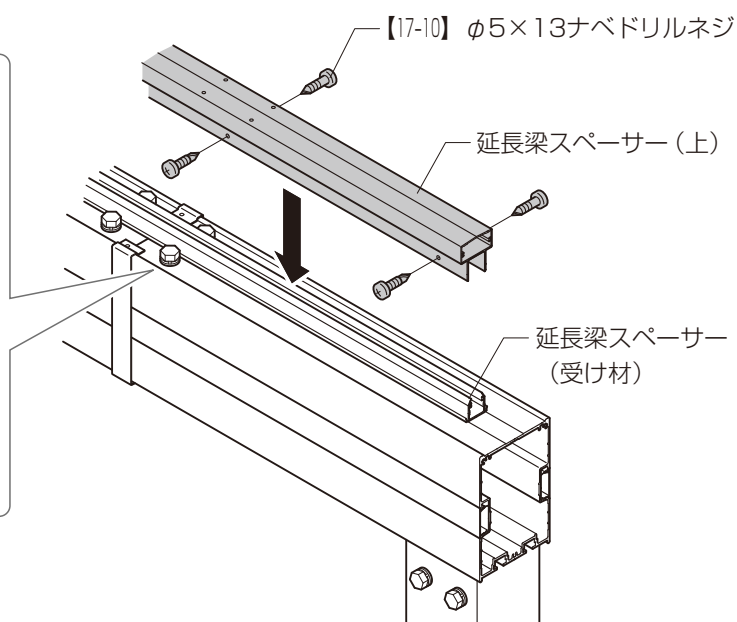
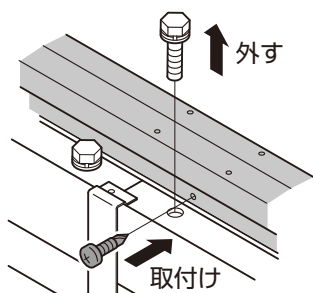
6 延長梁スペーサー（上）の取付け



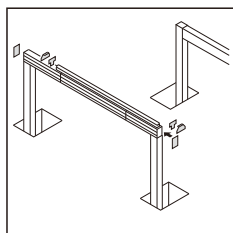
- ①延長梁スペーサー（上）を延長梁スペーサー（受け材）に【17-10】で取付けてください。

補 足

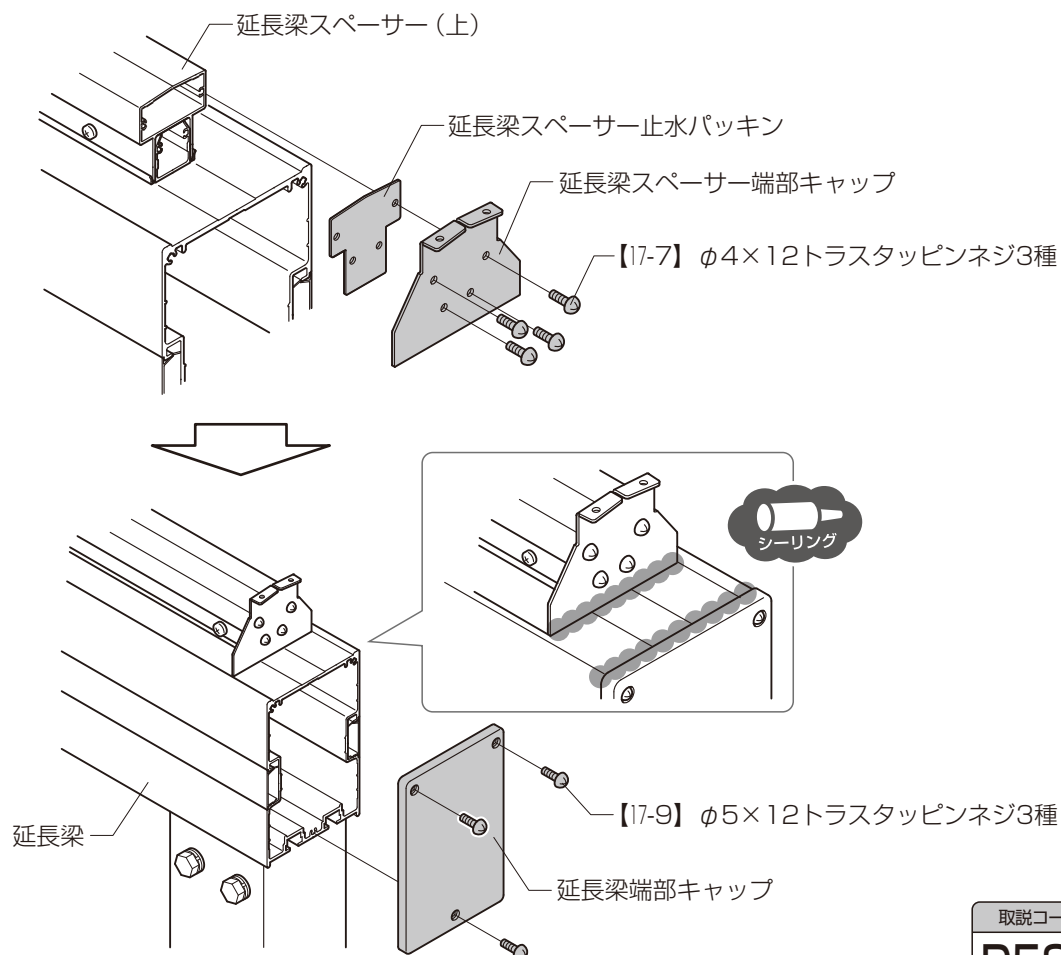
連結部のボルトがネジ止めの邪魔になる場合、一度ボルトを外して【17-10】を取付けてください。



7 端部キャップの取付け



- ①延長梁スペーサー止水パッキンと延長梁スペーサー端部キャップを延長梁スペーサー（上）に【17-7】で取付けてください。
- ②延長梁端部キャップを延長梁に【17-9】で取付けてください。
- ③延長梁端部キャップ、延長梁スペーサー端部キャップにシーリングしてください。



取説コード

D588

JZZ629761F
201503A_1039
201908F_1039